

3-A. 嵐 政則



3-A. 中川 真理



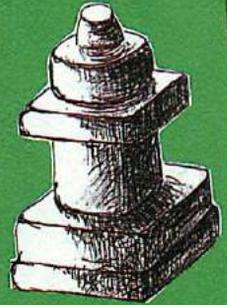
3-A. 根本 美佐



3-B. 黒田 模也



3-B. 長谷 拓



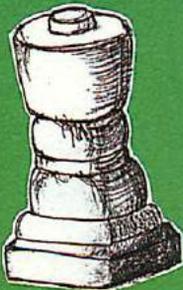
3-B. 小橋 沙織

五稜



第37号 (平成9年度)

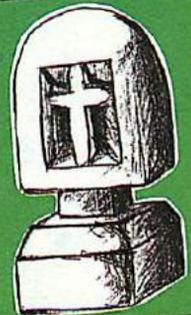
函館市立五稜中学校生徒会



3-C. 岡田 裕美



3-D. 太田 千恵



3-D. 網森 智子

五稜中学校校歌

小島 昌平 作詩
酒井 武雄 作曲

J-108-112



一
 ひんがしに 吉城のたもと
 いたなわの 五稜が丘に
 昔の 息吹さしに 胸を
 形た ふうもまたたけ
 新しや 老にたて
 大いなる 力 伴はさん

二
 さくら花 一と仰ぎ
 友がの 堅く結んで
 うらも 自主の鐘の音
 ひと音に 果てなき 志の
 條をゆく 理想の空
 ありとわに われら 宗えあれ

行事から

～Part 1～



入学式



入学式



生徒総会



生徒総会



生徒会役員選挙



生徒会役員選挙



亀田川清掃



亀田川清掃

行事から

～Part 2～



中体連陸上壮行会



中体連陸上選抜選手



中体連総合大会壮行式



中体連総合大会壮行式



中体連総合大会壮行式



中体連総合大会壮行式



中体連応援風景



中体連総合大会（サッカー会場）

行事から

～Part 3～



校内体育大会



校内体育大会



校内体育大会



校内体育大会



球技大会



球技大会



消費生活ポスターコンクール



消費生活ポスターコンクール

文化祭



吹奏楽部演奏



合唱コンクール



演劇部発表



学年館展示



食堂風景



学年館展示



P T A バザー



P T A バザー

修学旅行



休憩所にて



列車内



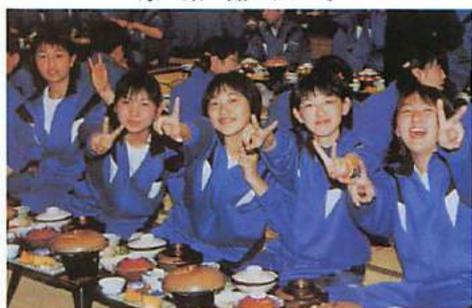
龍泉洞



康楽館にて



バスガイドさんと



ホテルにて



手づくり村



けいび溪舟下り

宿泊旅行



開陽丸



出発式



開陽丸



開陽丸



中村家



かもめ島



大沼公園



食事風景

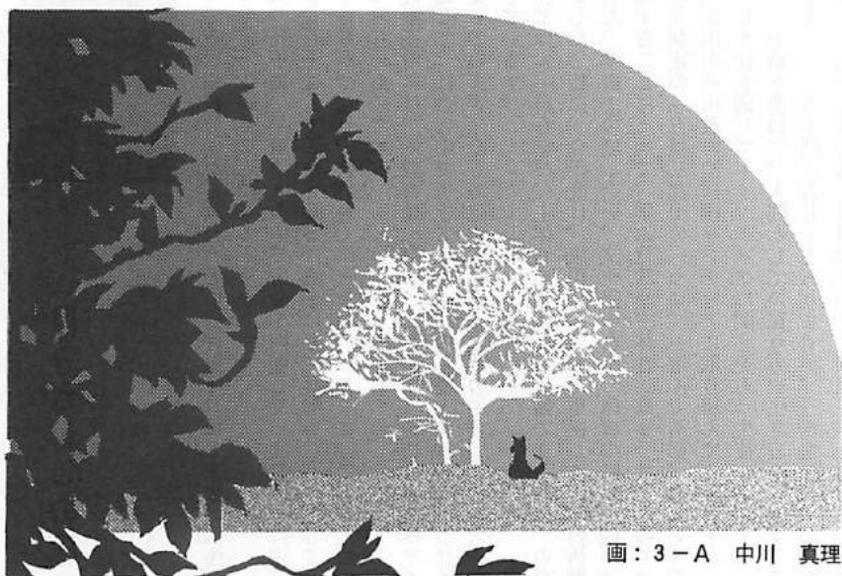
※平成9年度 五稜中教職員※



目 次

○グラフィア写真

○巻 頭 詩	1
「自分さがしの旅」について	2
好きな皆様へ	3
旅立ちのときを迎えた君たちへ	
知恵と勇気と優しさを	4
生徒会新総務 ～この一年にむけて～	5
生徒会旧総務 ～一年をふりかえって～	7
生徒会一年の足跡	9
専門委員会活動報告	13
卒業生へ贈る言葉	17
卒業生へ	24
在校生へ	26
部 活 動 一年間の活動記録	27
思い出をこのページに残して	35
生徒会テーマ&ポスター	44
修学旅行記	45
栄誉を讃えて	50
学級プロフィール ～1・2年～	52
宿泊研修	56
特集・校外学習体験記	59
文 苑	62
・意見文・詩	
・受賞作品	
・俳 句	
・短 歌	
・川 柳	
職員名簿	71
編集後記	72



画：3-A 中川 真理

場所

三年C組 藤山 なお子

心にもやがかかっているのだろうか
友達という時の雰囲気さえ
どこか つくりもののような気がした
私の中にはいつも そんな感情があった
だが この場所に出会ってから
私の世界は大きく変わった

この場所は思いださせてくれた
忘れかけていた大切な事を

この場所はいつも私を変えてくれた
この場所で 自分の居場所を見つけることが出来た
私は この場所にいるだけで
やすらげたんだ

誰にでも 変革はおとずれる
そうして 今の自分が在るのだから

今 旅立ちの時

この先 何かあるのかは解からないけど 恐怖心はない
私を変えてくれたのは この場所だ
だから大丈夫 落ちこんだりはしないだろう
私達はこれからのだから



「自分がしの旅」について

学校長 札内 征男

このごろ、「自分がしの旅」という言葉を耳にします。人生が自分の存在等を確認する旅であるとしたら、私自身にとってそれは難しいことで、一連続ことになると思われます。

中国の孔子は、「論語」の中で生涯を回顧して、次のように述べております。「吾十有五にして学に志し、三十にして立つ。四十にして惑れず、五十にして天命を知る。六十にして耳順い、七十にして心の欲するところを従にして、矩を踰えず」と。しかし、何歳になっても自立できなかつたり、狭いわくにとらわれたりして、この偉大な儒学者のように、したいと思う気持ちのままに任せても矩を踰えないようにはならないものです。

中教審答申には、「教育は『自分がしの旅』を扶ける営みである」と述べてあります。生徒は皆自分らしいよさをもっているのです、教育を通じて、社会の中で生きていくための基礎・基本を身につけるとともに、個性を見出し、自らにふさわしい生き方を選択していくことを示唆しています。そして、ゆとりある生活の中で、生徒一人一人が自ら学び、自ら考え、自律的行動をして、生きる力をはぐくむことを目指しています。

本校では、「自ら学び、主体的に判断し、行動できる生徒」の育成を重点教育目標にして、教科・道徳・特別活動等の教育課程を編成してきました。特に、今年度は、表現力の育成を重視して、学習活動の中で一人一人が様々な思いやもち味を表現することをねらいとしておりました。学級での話し合い、文化祭の合唱、体育の時間の創作ダンス、その他授業中の発表等を通じて、自ら課題に取り組み、生き生きと表現することによって、学ぶ意欲や主体性が高まってきたのではないかと思っております。

生徒会制定の「五稜三訓」の一つに、「進んで清掃、きれいな学校」があり、校内だけでなく校外でも清掃活動を行っております。五年前から亀田川河川敷の清掃ボランティアに取り組んでおりますが、平成九年度、「小さな親切」運動より実行章を贈られ、喜びにたえません。清掃奉仕を通じてボランティアに関心をもつ生徒が増えてきたのは嬉しいことです。家庭や地域においても、様々な生活・自然・社会体験などを積み重ねて、人間としての在り方や生き方を内省することは意義のあることだと思えます。

「五十のころは学問に志し」とありますが、三年生の皆さんはちょうど義務教育を終えて、社会へ巣立ちます。自己をみつめ、自分らしさを見出して自信をもち、生涯にわたって自己を向上させていってほしいと思っております。



大好きな皆様へ

P T A 会長 鈴 木 康 二 朗

いま交通事故で年間一万人以上の命が失われています。十年間だと十万人が死んでいます。そこで「交通戦争」と呼ばれ、いろいろな対策を講じています。しかし、自殺者の数がその二倍にも倍り、年間二万人以上の人が亡くなっています。まさに「心の戦争」です。私たちが生きてゆくためには、たぶん「何か」が必要なのです。私みたいな、いいかげんで、頼りなく、どうしようもない奴で恥をかいた自己嫌悪から、「死にたいな」と、口に出したことがあります。

ところが、今では同じ失敗を繰り返していることが、実に、自分らしく人間味があると思っています。この開き直り、逞しさは、君達からもらった日々のよろこびが、私の心を強くしたのです。先日、昨年卒業された生徒のお母さんから、大変よろこんで電話が掛かってきました。それは、田家町のダイエーで買い物をしていたら、知らない私服の女の子が三人で「こんにちは」とあいさつしてくれました。息子の同級生と聞いたら、「五稜中の三年です、〇〇先輩のお母さんでしょう。」と答えてくれましたという話でした。校長先生にも話して褒めてあげてほしいと話したということでした。私も、大変うれしく、その日一日明るくなりました。三人の女生徒のあいさつが、何人もの大人をよろこばせました。生徒と電話をくれたお母さんに感謝しています。同じように、部活の試合を応援に行き、元気にあいさつされたり、お礼を言われると、うれしくなり、顧問の先生に報告すると、先生方もよろこびました。また、卒業式の後には、何人かの卒業生に、お世辞でも「会長、祝辞よかったよ」と言われた時は、うれしくてうれしくて、元氣と勇氣を一緒にもらった気がしました。このように、ささやかな一言で、よろこびを感じるのには、深く悲しむことを知っているからだと思えます。

私がよろこぶことを知ったので、君達全員をよろこばせたいと思い、部活の試合を見に行き、活躍した選手を褒め、良かったことを褒め、レギュラーになれず、ベンチで応援している生徒に、君達の方が活躍した子より、苦しみや悲しみを知って、遅く他人にやさしくなったかも知れないと心で応援し、勉強ができた生徒には、その努力と実績を褒め、目立たなかった子には、勉強よりおもしろい物を見つけたのか、やり方がわからなかったのか、話して見たかった。でも、私は体育大会を見て、君達全員が、苦手なことも、自分のために、クラスのために一生懸命出来ることを知っています。友だちを応援できることを知っています。あの気持ちを忘れず、どうか、自分を信じ、自信をもって生きていって下さい。陰ながら応援しています。



旅立ちのときを迎えた君たちへ 知恵と勇気と優しさを

教頭 小林武征

「二〇〇一年宇宙の旅」というアメリカ映画が封切られて話題を呼んだのは、今から二〇〇年近い昔のことだったと思います。卒業式を間近に控えた頃に、生徒とともに劇場で鑑賞した記憶があります。その頃は二〇〇一年という年号が、遥か未来のことにように感じられました。

しかし、世界は三年後に二〇〇一年が、すなわち二十一世紀を迎えることになるわけです。二〇〇一年、それは皆さんのほとんどが高等学校を卒業して進路を選択し、新たな人生航路に旅立つ年でもあります。いわば、皆さんにとっては、「二〇〇一年人生の旅」とも言えるでしょう。

二十一世紀、それは一体どんな世紀になるのでしょうか。人類にどんな未来を約束してくれる世紀になるのでしょうか。二十一世紀がどんな時代になるのか、正直なところ正確な予想は誰にもできません。ただ、変化の激しい不透明な時代であることは誰もが指摘するところです。科学技術は一層発展し、人々の生活が著しく変化することは確かでしょう。ハイテク技術はいよいよ高度化し、コンピュータは情報手段として一層活用され、ハイブリット車が街を駆け巡ることでしょう。

しかし、人類は同時に解決すべき多くの課題を抱え、その解決を迫られることになることも確かだろうと思います。我が国を考えてみても、予想以上の猛スピードで進む少子化現象、そして高齢化への対応。これらの課題への対応は、日本の将来を大きく左右することになるでしょう。一九九七年末に突如として表面化してきた経済危機と金融不安、これも早急な対応が迫られている課題です。そして、大気汚染、地球温暖化、森林破壊等の環境問題は、我が国ばかりでなく世界的な課題となってきました。

二十一世紀はかなりの速度でこれらの事態が進行し、早急な対応を求められることになるでしょう。二十一世紀を生きる皆さんにそして人類に求められるものは何でしょうか。それは、状況を的確にとらえ最も適切な対応を選択する「知恵」であり、冷静かつ積極果敢に問題解決に取り組む「勇気」、そして地球・自然・人間をいっくしむ「優しさ」だろうと私は考えます。二十一世紀こそ、人間が最も賢くならなければならない時代です。中学校卒業後の新たな人生を生きる中で、知恵を磨き、勇気を養い、優しさを育むことを心がけてほしいと思います。

皆さんの健闘を、心から祈念しております。

生徒会新総務

～この一年にむけて～

会計	書記	副会長	会長		
小上杏子	越山元貴	高橋尚子	山崎雄大	吉田玲菜	上戸理克
			新	雄斗	

新生徒会総務一覧



GORYO MAKES

REVOLUTION

会長 新 雄斗

新生徒会総務がつくられてから数ヶ月が経ち、生徒会の一員、会長としての自覚が、だんだん身につけてきたような気がします。

しかし、まだ生徒会の仕事は失敗ばかりで、会長という重大な任務を果たせるかどうか心配ですが、会長をやってみて、以外と楽しいので、これからは一つ一つの仕事に責任を持ち、楽しくやっています。

僕のこれからの抱負は、校則などの見直しを行うこと、文化祭をもっともっと盛大にやるにはどうすればいいかなどを全校生徒でよく話し合い、みんなが五稜中学校は楽しいといってくれるような学校にしたいです。

また、あいさつ運動・ボランティア活動をもっと活発にしていきたいと思っています。ボランティア活動は、清掃だけでなく、古切手やベルマーク・募金などを行って、少しでも困っている人たちを助けていきたいです。

しかし、このような取り組みは、先生や総務だけでは、いくらがんばってもやっていきません。みなさんの協力・勇気がなければ成り立ちません。

ですから、みなさんも普通の生徒ではなく、自分は総務の一員として協力を、お願いします。

生徒会会長として、残りの任務を全力尽くしてがんばります。

これからの生徒会活動へむけて 副会長 上戸 理克

十月の生徒会役員選挙から二カ月あまり。最初は戸惑ってばかりの僕でしたが、今では仕事にも慣れ、副会長としての自覚が少しずつわいてきています。

生徒会活動は、僕にとってはどれも初めてのことなので、まだ不安な面もありますが、会長をはじめ、他の総務の皆さんと協力していきたいと思っています。

これから任期終了まで、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いします。

副会長として

副会長 吉田 玲菜

私はこれから、会計とはちがった副会長として、生徒会の仕事に取り組んでいきます。そのために、副会長としての自覚をしっかりともち、今までやったことのない仕事などにも、積極的に挑戦していこうと思っています。

この一年間会計としてやってきたことが、ムダにならないよう、他の新しい総務の方々と色んな面で協力し合いながら、精一杯がんばっていきたいと思いますので、一年間、どうぞよろしくお願ひします。

経験を生かして

書記 山崎 雄大

生徒会書記となって、約半年が過ぎました。以前に、生徒会会計として総務の仕事をしていたので、仕事内容は把握しています。不安等も、会計の時に比べると、かなり減りました。

しかし、会計の時にやり遂げることができなかった事も色々ありました。この五稜中学校をよりよい学校にしたいという抱負も、ほとんど他人任せだったので、今後は自分から進んで取り組み、前総務の先輩方を見習い、他の総務の方々と頑張っていきたいです。

生徒会とは私にとって

書記 高橋 尚子

生徒会とは、私にとって一つのおこがれでした。その中でも一番やりたかった仕事は、文化祭に関係する仕事です。みんなが楽しめるようなことを考えたり、会場設定、司会進行などと、やりごたえのある仕事ばかりです。

来年の文化祭は、みんなが踊ってしまいうぐらいに乗れる、楽しかったがたがない文化祭にしたいと思っています。

そして、他の仕事も精一杯がんばりたいと思っています。

生徒会に加わり

会計 越山 元貴

あのものすごい緊張で大変だった生徒会役員選挙からはや数カ月がたちました。最初のころは僕が他の役員の方々に迷惑をかけるのではないかと、とても不安でした。最近になってやっと仕事の仕方がわかってきたので、みんなと楽しく協力して仕事ができるようになりました。

しかし、まだまだわかってきたことはほんの一部だと僕は思います。きっとこれからもわからない事や大変なことに直面すると思いますが、五稜中を良くするために一生懸命がんばります。

協調の精神で

会計 小上 杏子

生徒会総務の一員となってから数カ月がたちました。

微力ではありますが、会計としての仕事を少しずつこなしながら、たくさんの方の経験を積んで、自分のためにも、みなさんのためにも一生懸命がんばっていきたいと思います。

それには、役員同志の協力はもちろんですが、みなさんの協力なしでは成り立ちません。私も協調の精神を忘れずに、皆さんとともに進んでいこうと思います。

生徒会旧総務

～一年をふりかえって～

会計		書記		副会長	会長
吉田 玲菜	山崎 雄大	本間 奈美	佐藤 勇太	長谷 拓	江口 敬子

旧生徒会総務一覧



成長できた自分

会長 江口 敬子

(女の私に会長が務まるだろうか。)任期を終えた今、生徒会役員選挙の立会演説会で不安な気持ちでいっぱいだったところが、とても懐かしく感じられます。

私にとって総務の一員として頑張った一年間は、本当に充実したものであり、また数々の貴重な体験を通して、自分が成長していく様子を見ることができ本当に良かったです。しかし、今こうして満足できる自分があるのも生徒の皆さんや先生方が、いつも助け、支えていて下さったからだと思います。

私は自分でも恥ずかしいくらい、たよりない会長だったと思います。何かの挨拶といえば緊張しすぎて間違えたり、詰まったりしていつも迷惑をかけてしまし、皆さんが本当に望んでいた生徒会というものをつくり上げることができなかったかもしれません。しかし私は、任期を終えるまで仕事に対して手を抜いたことは一度もありません。最後まで責任を持って務めたつもりです。そんな成長できた自分を今はほめてあげたい(というのと恥ずかしいのですが...)と思っています。そしてこれから先、いつかこの経験とたくさんさんの思い出が自分のプラスとなって役立ってくれればと思います。

最後になりますが、いつも協力して下さった総務の皆さん、萩野先生、佐藤先生、一年間お世話になりました。ありがとうございました。そして生徒の皆さんや、先生方も本当にありがとうございました。いつも笑いのたえない生徒会室。私の一生の思い出です。

二年間の生徒会活動

副会長 長谷 拓

今回の生徒会は、僕にとって二度目の生徒会でした。

一年生の時は、書記に当選し生徒会の仕事をやったが、どうしても先輩にたよる面があり、あまり自分では納得がいきませんでした。二年目からは副会長になり、今度は先輩が生徒会にはいなくなつたので、自立心をもって生徒会活動を行いました。最初は先輩がいない分不安だったが、前回の経験を生かし仕事をしました。その結果は、まわりの人にとってどうだったかはわからないけれど自分なりに精一杯やったつもりです。最後に先生方、生徒会総務ありがとうございます。

生徒会総務の一年

書記 佐藤 勇太

この一年間の生徒会活動を振り返ってみると、「本当にいろんな貴重な体験をさせてもらったなあ。」とつくづく思います。桐花中学校での地区のプロロック会議に出席したり、文化祭での会場設営をしたりと他にも沢山の仕事をしました。どの仕事にも自分は生徒会書記であるという自覚と責任を持って取り組んできました。新総務のみなさんは、これから一年間数々の仕事があります。必ず自分自身のプラスになるのでがんばってください。

最後に生徒の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

一年間の役割

書記 本間 奈美

あの日からもう一年がたつたんで、あっという間です。緊張した演説、当選した喜び、バッジを受けとった時の薄い実感、今でもはつきりと覚えています。仕事を振り返ると、これでよかったのかと少し考えてしまいます。でも『文化祭』となると、立派にやり遂げたという満足と、総務としての実感を味わうことができました。

この一年間は、私にとっても貴重でよい経験となりました。最後に、総務の皆さん、先生方、ありがとうございました。

初めての生徒会活動を終えて

会計 山崎 雄大

この一年間、生徒会会計として、いろいろな経験をすることができました。最初のうちは色々不安がありましたが、次第に仕事にも慣れ、少しながら『自覚』というものも持てるようになりました。総務の先輩の方々も、とてもやさしく、そしてとてもすばらしい人達でした。ぼくが失敗した時も、いつも支えてくれました。そして、先生方も、同じようにぼくを支えてくれました。

ぼくは、学ばなければならぬ事がたくさんあります。でも、この一年間の経験を生かして、今度は書記としてがんばりたいです。

会計としての一年間

会計 吉田 玲菜

この一年間はこれからの私にとって、とても重要なよい経験になりました。いろいろな会議、生徒会が中心となって作りあげる文化祭などを通して、『仕事の楽しさ』を実感することができたのです。同じ生徒会総務の先輩方が、やさしくいつもはげましてくれたおかげで、少し自分に自信がもてるようになってきました。ホントに先輩方にはお世話になりました。そして、一年間ご苦労さまでした。私はこの一年間で学んだ、たくさんのお話を生かし、大切にしながらこれからの一年間もガンバっていきたいと思います。





みなさんの今年の一年間はいかがだったでしょうか。勉強を努力したり、部活に熱中したりなど、一人一人が充実した生活を送ることができたと思います。この一年間は三年生にとっては高校へ向けての重要な年となり、一、二年生にとっても次の学年への大切な飛躍の年だったと思います。そこで印象に残った数々の生徒会行事をふり返ってみましょう。

四月

◇入学式・第一期始業式
小学校の時とは違い、私服ではなく制服で登校し、教科ごとに違う先生が来て授業をする中学校ですが、違いはあっても入学式での新一年生の態度は真剣であり、そして立派でした。

◇新入生歓迎会

この日、生徒会活動の説明や各部活動の紹介が行われました。生徒会活動の説明は一年生には少々難しかったかもしれませんが、真剣に聞いていました。部活動紹介では常設部活動に入っている生徒達がいつもの練習内容を見事に披露してくれました。

◇認証式と専門委員会

各専門委員の代表が任命証を受けとり、各専門委員会の活動がスタートし、各委員会では、半年間の活動内容が決定されました。

五月

◇修学旅行

中学校生活最大のイベント修学旅行。岩手県を中心に東北地方を三泊四日で回りました。様々な思い出ができ、数々の感動を受けました。

◇校外清掃

すがすがしい青空の下で、一年生は亀田川・梁川公園、二年生は五稜郭公園、三年生は校舎周辺をそれぞれ清掃しました。

◇生徒総会

各専門委員長の説明のあと、各学年級から色々な質問が出され、生徒会活動をみんなの力で頑張っていこうとする気持ちを感じられました。

◇第三十七回校内体育大会

全校生徒が各競技でそれぞれ闘志を燃やして頑張っていました。学年優勝をものにするため、どのクラスも一丸となって取り組んでいました。一人一人が練習の成果を出しきれたと思います。

六月

◇中体連陸上競技大会壮行式・応援

体育大会で好記録を残し中体連陸上競技大会への出場が決まった生徒達への壮行式が行われ、中でも応援団の応援は迫力がありました。



◇中体連陸上競技大会

短期間の練習でしたが、選手達はそれぞれ一生懸命に各競技に取り組んでいました。

◇生徒会ブロック会議

桐花中で行われたブロック会議では、校外清掃やいじめ等、各学校での取り組みが紹介されました。

七月

◇中体連総合大会壮行式・応援

各部のキャプテンからファイトあふれる言葉を聞くことができました。

◇中体連総合大会

中体連総合大会に参加した各運動部の生徒達は、全力で勇敢に闘いました。

◇亀田川清掃

自主的参加を呼びかけましたが、当日は早朝にもかかわらず百名以上が参加し、ボランティア活動にさわやかな汗を流しました。

◇第一期終業式

様々な出来事があった一学期。そして夏休みではたくさんの思い出をつくることができました。と思います。

八月

◇第二学期始業式

楽しかった夏休みも終わり、一年で最も長い二学期が始まりました。

◇宿泊研修

二年生全員で江差町に行き、開陽丸や追分会館などの観光施設を見学し、大沼のホテルに一泊しました。数々の思い出や感動に出会うことができました。

◇文化祭実行委員会発足

いよいよ文化祭へ向けての活動がスタートしました。全校生徒から募集・投票の結果、今回のテーマは「SPREAD OUR WINGSー翼を広げて」と決まりました。



九月

◇第三十七回文化祭

今年も二日間の日程で行われた文化祭。合唱コンクールではどのクラスも協力し合って美しい歌声を出していました。また、吹奏楽部の演奏の時に、戸田先生が大熱唱するなど、今年の文化祭も大成功でした。

◇校外清掃

秋の校外清掃は、雨天により中止となりました。残念。

十月

◇球技大会

男子はサッカー、女子はバレーボールで、それぞれ体育の授業等での練習の成果を存分に発揮していました。

◇生徒会役員選挙・立会演説会

どの立候補者も立派に演説をしていました。また、生徒会に対する意識や関心の強さ、そして熱い気持ちも感じられました。

◇生徒会役員認証式

新総務に信任・当選した七名が校長先生から任命証を受けとり、その責任をしっかりと感じとりました。

十一月

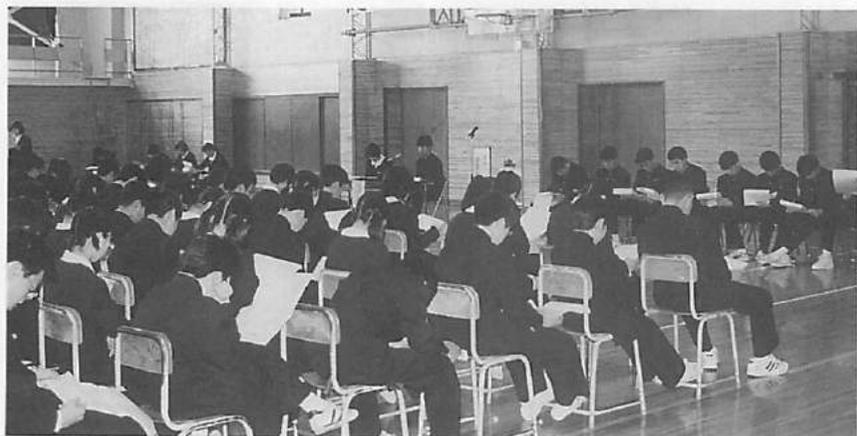
◇生徒会誌編集委員会発足

この日から新旧生徒会総務と二、三年生の代議員によって生徒会誌編集委員会が発足しました。

十二月

◇生徒会ブロック会議

全市一斉の取り組みとして、「葉物追放宣言」の文案作りに取り組みました。



◇第二学期終業式

数々の行事があった二学期が終わりました。

一月

◇第三学期始業式

一年のラストスパートである三学期が始まりました。

三月

◇卒業式

三年間の中学校生活が終わり、三年生は未来への新しい第一歩を踏み出しました。

◇修了式

長かった一年が終わり、また私達はこの一年間で大きく成長することができました。

専門委員会

～活動報告～



代議員を終えて

代議員会

代議員会は、各学級から選ばれた代表二名と、生徒会総務で構成されている委員会です。私達の一日の仕事は、朝の挨拶運動から始まります。五稜三訓にもあるように、明るい校風を作るため、毎日先生方や代議員が交替で玄関に立ち挨拶運動を続けてきました。中には、挨拶をしてくれない人もいたのですが、「おはよう」と明るい挨拶から始まる一日は気持ちの良いものです。この挨拶運動は、この先も続けていくべきだと思います。

ところで、私はこの三年間を通して代議員を三度経験しました。最初はみんなからの推薦で決まってしまう、実を言うと気乗りしませんでした。でも実際に活動してみると、とても楽しくやりがいのある仕事でした。後の二回は自ら立候補したほです。確かに、大変なこともありましたがやりとげてこそ、感動もあります。

代議員としてがんばってみませんか？
やってみる価値は十分にあります。

(岡田 裕美 記)

学習委員会を終えて

学習委員会

僕は、中学に入って初めてこの委員に入り、すごい体験をさせてもらいました。

いきなりにも、委員長という仕事をやるなんておもしろいかなって、驚きました。

初めは、ちゃんとしているかなあ、この仕事の責任をはたせるかと心配でした。しかし、だんだんやっていると慣れてきました。

しかし、試練が訪れてきました。それは文化祭の仮装です。それは毎年恒例の行事であったのですが、僕はこれは絶対にやりたくないと思っていました。でもその日がきました。各委員長のあいさつの時は、さんざん思いでしゃべって、赤恥をかいてしまったし、ちょっといやだったです。僕は、これを提案した人を少しうらみず。

僕は、これらの体験をして、いろいろなものを感じたり学んだりすることができ、色々な仕事をして、なんだか第二の人生の始まりのようだと感じました。

お世話になった先生や協力してくれた皆さんに感謝します。どうもありがとう、また会える日まで。

(野口 尚也 記)

青春かな生活委員会

生活委員会

生活委員会はとても忙しい委員会だったと思います。とくに週番は忙しくめくどくさい仕事でした。なので、実際僕が玄関に立つことはほとんどありませんでした。

そして今では委員長になったことを非常に後悔しています。文化祭では仮装という変なきまりがあったため、僕は女装しました。多分そのことは、今までの人生で一番恥ずかしいことでした。やっぱり前期委員長をやるものではないと思いました。

こうして書いていると悪いことばかり書いているようですが、とてもやりがいのある仕事だと思えます。委員会活動を通して学んだこともたくさんあります。なので委員会活動は積極的に行うようにしましょう。

お世話になった山口先生、佐藤先生、その他の先生どうもありがとうございました。

(浅田 光博 記)

保体委員を終えて

保体委員会

保体委員は、普段はあまり仕事がなく、石けんをとりかえるくらいしかしない。しかし、体育系の行事が近づくとすごく忙しい。

例えば、体育大会。個人種目や全員リレーを決めるとき、こっちの気持ちもわからないで言いたい放題言ってきたりなかなか決まらなかった大会当日も、選手宣誓や係の仕事で忙しくつらかった。これ以外でも、体育時は「並んで」と言っても並んでくれない。そして怒られるのは委員だった。この気持ちは、保体委員の人でなければわからない。でも、うれしいことだである。みんなで決めたチームで勝ったときはとてもうれしい。「これでよかった」と満足感が出てくる。これも保体委員になってみないとわからない。

このように、保体委員はすごく大変でした。しかし、仕事が大変だったからこそ、今は達成感でいっぱいです。今後この委員になる生徒は大変ですけどがんばって下さい。

(荒木田 保 記)



給食委員会からのたより

給食委員会

拝啓、後藤け〇いち様、本日はお日からも良く、白衣がよく乾きます。農村では乾季が続き、兼業農家が増えてきた次第です。その頃僕は不幸にもジャンケンで負けて、給食委員長というものになってしまいました。僕は給食委員長なのに仕事を一番サボリ、白衣点検表を一カ月提出しなかったという世界新記録を樹立しました。

給食委員会では、白衣、マスクの点検、給食の台ふき、ナプキン調べ、手洗い・うがいの呼びかけをやる予定でしたが、白衣・マスクの点検以外ほとんど仕事がありませんでした。さらに委員長になると文化祭で大仏をかぶって、自分だけの世界を楽しめたり、こんな、つまらない文章をかけます。給食委員会担当の母・浦野先生も謎めいているので、こんなかわいそうな、給食委員会をよろしく、おねがいしました。

(奥山 活記)

つづく

整美委員になって

整美委員会

整美委員会の委員長になることで少し不安もありましたが委員会の回数が増えることにより委員会の責任が持てるようになりました。活動内容としては毎年行っていた花壇作りが工事の為できませんでしたが花壇作りができなかった分、校外清掃や亀田川清掃を念を入れてやりました。

亀田川清掃の方では自主的な参加を呼びかけましたが、当日は早朝にもかかわらず百名以上が参加し、ボランティア活動に汗を流しました。

委員長になり色々な経験をしてきましたが、全校生徒の前で話すときにはすごく緊張しました。失敗もありましたが、これも一つの思い出だと思います。

雑談にはなりますが、この学校には文化祭のとき委員長は仮装しなければならぬというさむい行事がありますが、正直いってああいうのは……

整美委員会の仕事を全うできた事を自負しています。

(横沢 篤記)

文化委員会を振り返って

文化委員会

文化委員会に初めて入りししかも委員長という重大な大役をまかせられたとき、「僕にやっていけるのか」と不安でした。

が、今となってはとてもいい経験と思い出になり、やってよかったと思う今日このごろです。

文化委員会の仕事は、学級新聞と掲示物のはりかえという簡単な仕事でしたが、やっているうちに楽しくなります。そして、最大のイベントの文化祭。とてもはずかしかった、あの仮装もまた、いい思い出になると思います。

この委員会は、先輩たちによって発展してきたわけですが、このほくも、その一部になっているか反省し、また、この文化委員会委員長になれたことをとても光栄に思っています。このあと、後輩によって委員会は発展すると思いますが、がんばって下さい。協力して下さった先生方、ありがとうございます。

(福樫 直人記)

図書委員会を終えて

図書委員会

僕が図書委員に立候補した理由は、全部の委員会の中で一番仕事が楽だと思ったからです。ところがどっこい、図書委員会の仕事は思ったよりもハードでした。

毎週水曜日の放課後に図書室の掃除をしたり、図書当番や本の整理など大変でした。

その中でも一番大変な仕事は、新刊の整理です。古い本を整理して新しい本に本の番号をかいたシールをはり、それぞれの棚に入れるという作業を三十分以上やりました。

時々、さぼろうかと思いましたが僕は委員長だったのでさばれませんでした。

しかし、今委員会の仕事を終えてみるときつかったけどやりがいのある仕事でした。

最後に、きびしくもやさしく指導してくれた辰巳先生、お世話になりました。

(長浜 潤 記)

楽しかった!? ボランティア委員

ボランティア委員会

僕ごとと深沢宏大は任期の中ごろ、転校していった人のかわりにボランティア委員になった。そして「特に仕事はないだろう」という気持ちで委員長なってしまった。「これから色々あるとも知らず・・・」後はみなさんごぞんじの通り文化祭での仮装をして・・・

・こんな事はさておいてボランティア委員の活動内容をお話ししましょう。まず顧問はナイスガイな阪井先生です。仕事は、亀田川清掃、文化祭前日の清掃等だ。あと一番の仕事は、ボランティア活動の普及だ。とまあこんなところですよ。これを読んでボランティア委員志望の人が増えることを祈っています。最後に阪井先生ほんの少しの間でしたがご迷惑をおかけしました。かな？

(深澤 宏太 記)





目標に向かって頑張れ!!

三年A組 担任 山口 哲也

卒業生の皆さんとは、二年間学年を共にして歩んで来ましたが、この二年間の間、いろんなことがあったなあと思います。そんな中でも、三年生になってからの活動は、特に立派だったと思います。修学旅行や体育大会、球技大会などの行事では、自分が何をすべきかを理解し、集団の一員としての自覚をしっかりとって活動していました。また、皆で力を合わせて頑張るんだという意気込みが伝わってきました。一人一人が目標をしっかりとって、取り組んだ結果だろうと思います。後輩達は、卒業生が残っていたものをしっかりと吸収し、更に上を目指そうと思います。そういった意味でも、後輩達の成長を、私自身楽しみに思っています。

三年間の中学校生活のなかには、たくさんの思い出があると思います。順風満帆に過ごした人は、ごく僅かだと思います。楽しかつたこと、辛かったことなど、数えきれないほどの思い出を、胸に秘めていると思います。皆さんに対して、私が自信をもって言えることは、一人一人が心身共に、確実に成長しているということです。これからの人生、いろんな事があると思いますが、どんな問題にぶつかっても、自分に負けずに頑張ってください。

皆さんからベジータと呼ばれ、いつのまにかベジになってしまった今日、先生という立場で接して来ましたが、考え方や活動する姿を見て、皆さんから学んだ事も多かったと思います。卒業生の皆さん、たくさんの感動をありがとう。からだに気をつけて、精一杯頑張ってください。卒業おめでとう。



「三年B組、生徒諸君に告ぐ」

三年B組 担任 桑 野 健 一

昨年の四月、五稜中学校に赴任して三年B組の担任を、一年間務めました。最初に思ったことは、一年間で君達の希望する進路目標を達成できるか、ということです。私も君達も多少の不安と緊張の中、四月七日の「学級開き」の日を迎えました。まずは、私の所信表明です。『偶然出会った生徒と先生、五稜中学校の三年生として大切な一年間を一緒に過ごすことになりました。たった一年、されど一年、青春の一ページを飾るため、中身の濃い・充実した思い出多い一年間にしよう!!』というふうな口火を切り、その後、『何でも一番を目指せ! 体育大会・文化祭、勉強・スポーツ・部活動』という具体的な私の願いを十個ほど表明しました。目を輝かせながら微動だにすることなく、私の話に関心入ってくれる君達に安堵感を覚えたものでした。また、君達一人ひとりを少しでも多く理解したいがために、できるだけ教室や廊下に居て、会話や観察を深めました。給食・掃除当番と一緒に、余裕を持って落ち着いて食事ができるよう、そして、隅々まで奇麗に、明日も良い環境で生活・学習できるように心掛けたつもりです。さて、学校行事の体育大会では、全員が参加して勝ち取った準優勝。文化祭合唱コンクールでは、難曲に挑んで後輩に置き土産を残してくれた銀賞。学級が一丸となって取り組み、青春の炎を燃やしてくれました。私も一生涯、忘れ得ない学級となりました。たった一年間だったけれども、凝縮された一年間でした。全員の進路目標が達成できるよう祈念します。一年間、ありがとう!! そして、また逢う日まで!!



美しい日本語を大切に

三年C組 担任 田 中 篤 子

一九九七年を象徴する漢字は「倒」。企業や金融機関の倒産、中学生による殺人事件など暗いニュースが多い中、皆さんは人生最初の岐路に立ちました。絶えず前向きに、希望と勇気を持って正しさを求め、新しい航路を開拓していくことを期待しています。

ところで最近、若者の言葉の混乱がよく話題になります。女子高生独自の用語、語尾を上げる癖、「超〜」などパターン化された形容など、数え上げればきりがありません。昔から「言葉の乱れは国を滅ぼす」と言われます。私は皆さんに、正しく美しい日本語を話したり書いたりできる人になってほしいと願っています。

古文で学んだ「山ぎは」「山の端」の微妙な区別、萌黄・藍・紅梅など花になぞらえた色名など、日本語には豊かな感受性に裏打ちされた表現がたくさんあります。

俳句・短歌などの定型詩に代表されるように、日本語はリズムの美しさ口誦性を追及するのに適した言語でもあると思います。

また、日本の文字には、視覚に訴える美しさがあります。曲線で構成される平仮名と直線的な漢字・平仮名とが織りなす流麗なハーモニーは、世界中を捜しても他には見あたらないでしょう。

このような伝統を継承していくことができるのは、次代を担う皆さんなのです。皆さんとは一年生の書写、二、三年の国語の学習で接する機会がありました。私からの最後のメッセージとして記憶しておいてください。さあ、四月からの無限の可能性への第一歩をしっかりと歩み始めましょう。



やさしさが一番

三年D組 担任 後藤 賢一

思い掛けずに左膝骨にヒビが入り、四週間たった今もまだ左足にギプスをはめており、松葉杖を使って移動しなければならぬ有様です。このような有様で生活していると、人のやさしさに敏感になってくるのがわかります。今までごく当たり前に行っていたことが非常にむずかしくなったり、まわりの状況が危険に思えることがあるのです。例をあげてみれば、すぐそばを通って松葉杖や身体にぶつかっていったり、うしろを確かめずに急に振り返り、ぶつかりそうになることです。しかし、これらはちょっと気を使ってくれれば、何でもなくなる事なのです。

私の身のまわりには、身体の不自由な人たちがいます。健常者には当たり前のことでも、非常にむずかしいことが数多くあるのだという事を理解して、やさしい気持ちで接して欲しいと思います。

残念ながら、自分のことだけを考えて、他人の気持ちを理解できない人は、このようなやさしさが欠けているか、足りないのだと思います。つまり、相手のいやがることを言うか、したりする人です。近ごろの「いじめ」も、他人に対する「やさしさ」が欠けているか、足りないから起きているのだと思います。人にはやさしくしてあげるように心掛けて生活するようになしてください。

他人にやさしくしてあげられない人は、他人からもやさしくしてもらえないのです。
卒業おめでとう。



今、自分は何をすればよいのか

三年A・B組 副担任 名古屋 貞俊

今、自分は何をどうすればよいのか。この問題を自分自身で見つけ、自ら問題解決に立向かうことができますか。

今年、授業や諸行事等の活動を通して、活動内容の順番が明確になっている場合は、問題等を処理したり解決したりして、それぞれの能力を発揮していました。が、順番が明示されていないような場合はどうであったかという大いに疑問が残りました。周囲の人に解答を出して貰う前に、まず自らの力で解決して欲しいものです。勉強は、生涯続くと言われています。自分を研ぐ意味でも、自己研鑽に努めて欲しいです。



卒業おめでとう

三年C組 副担任 大村 俊幸

中学校生活の三年間を終えた今、四月から始まる新しい生活に心を躍らせているところでしょう。この一年間、様々な思いで進路を選択し決定してきました。大半の生徒は高校への進学を目指しています。今までは、高校に入ることで頭が一杯だったと思います。これからは、高校でどのような生活を送るのか、そして、その後どの方面へ進むのかじっくり考えて下さい。就職する人は、社会の中に入って行くわけですから、多くの困難や誘惑が待ち構えています。自分を律する心を更に育て、困難に立ち向かって下さい。そういう意味をこめて、卒業おめでとう。



「時間を大切に」

三年D組 副担任 大宅 剛

「宇宙の年齢は一五〇億年。地球の年齢は四五億年」といわれている。これに比べると人間の一生なんて些細な時間にすぎない。時間は自分の意志とは無関係に流れる。

とかく、人間は弱いもので、その場の雰囲気や都合で時間をおろそかにしがちである。今日できることを明日に伸ばすことなく、その時、その場を全力で努力できる人に、今日を精一杯生き抜く人になって欲しい。「光陰矢の如し」時は人を待ってはくれない。一日一日を大切に……今後の健闘を祈っております。

今のこの一歩を大切に

一年A組 担任 辻 吉 隆

あのきらきらと輝いたひとみで入学してきた皆さんも、もう卒業です。明るくいろんな知恵や力を出しきった陸上や体育大会、文化祭でみせた協力し合う美しさ、思いやり。中学時代のこの仲間は、燃えた青春の1ページの一人、一人でとても貴重な宝です。とにかく健闘を祈る。

「悔いのない人生を」

一年B組 担任 越 田 喜 忠

ユダヤ人には世界的に活躍している学者や芸術家が多い。「他人より優れよう」としないで、他人とは違った人間になれ」という言葉が、彼らの人生の基本になっている。社会が複雑化し、人生に於ける選択の道も増える。だけれども、自身のユニークさを自覚し、多様な悔いのない人生を送ってほしい。



「ハードルは、かなたまで」

一年C組 担任 信 田 博 之

そう、理性という言葉が、ふさわしい。純なハートと、澄んだ瞳の奥に、グランドに舞う風と体育館の歓声を、ほんの少し憶えてほしい。ハードルは、かなたまで。跳べ、君の感性で。

祝 卒業

一年A組 副担任 阪 井 恒 雄

卒業生の授業態度・意欲いふことなし立派でした。卒業後も、真面目な態度で生活を送ってほしいと思います。そうすると困ったとき、困難なとき、必ず道は開けてくると思います。最後に健康で幸多かれと祈る。

「人生の風」

一年B組 副担任 吉 田 孜

人の一生には、八つの風が吹くと云われます。「利風」得する風、「哀風」損する風、「毀風」陰で悪く云われる風、「誉風」陰でほめられる風、「称風」みんなの前でほめられる風、「譏風」みんなの前でのしられる風「苦風」悩み苦します風「楽風」楽しく幸せな風、今吹いている風はどれ?

「卒業」

一年B組 副担任 戸 田 修

尾崎豊「卒業」のサビを知っていますか。(こゝの支配からの、卒業) 皆さんは卒業後、支配とは言わないまでも、親や先生から細かくは注意されなくなるでしょうから、これからは自分自身で考え、行動できる人になって下さい。

真剣に

一年C組 副担任 辰 巳 美恵子



卒業おめでとう。皆さんとは一年の時、国語を勉強しましたね。前向きで、懸命に取り組み、先生にとっては楽しい授業でした。これからの人生、困難に出会うこともありますが、投げ出さないうで、真剣に立ち向かうことによって、道は開けるものです。苦難を乗り越えた人は、一段と成長します。

確実な歩み

二年A組 担任 荻野 雅彦



卒業生のみなさん、卒業おめでとう。若さと情熱で、自分のやりたいことに没頭し、人生の財産である良き友人を得て、自立へ向けて確実に歩んでくれることを心から願っています。

思いやり

二年B組 担任 浦野 志織



卒業おめでとうございます。みなさんはこれから新たなスタートをきりますね。これから生きてゆく中で、思いやりの気持ちを大切にしてください。横に困っている人がいても通り過ぎていく人間、ゴミが落ちているのを知っているながら拾わない人間、こういう人間には決してならないで下さい。

一步一步確実に

二年C組 担任 佐藤 雅博



卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。新たなそれぞれの道へ歩み出すこととなりますが、人生は一度きり、時々後ろをふりかえり、思い出に浸ることもいいものです。ゆっくり焦らず、一步一步確実に前進して下さい。

向上心を忘れずに

二年D組 担任 笹谷 巖



卒業生諸君おめでとう。君たちは、体育大会、文化祭合唱コンクール、球技大会など、いかなる活動においてもみんなが一致協力し最後までやり抜くという団結力の強い学年であったように思います。卒業後も周囲の人々と協力し、よりよいものを求め、常に向上しようとする心を持ち続けてほしいものです。

水に寄せて

二年A・B組 副担任 鮫川 静穂



水が好き。一滴一滴の雫に、岩をも砕く鋭さがあるから、水が好き。雫が細い流れとなり、河になり滔々とした流れが、わたしに、安らぎと豊かさを与えてくれるから。あなた方と共に学んだ一年間から、私は「水」を連想する。時には淀み時には早瀬となり、更に豊かな流れとなることを期待します。

自分流に生きる!

二年C・D組 副担任 伊勢 健



フーテンの寅さんは、何か事件がおきると、そのあとさきも充分に考えないで、自分の気持ちに従って、まず行動を起こす。そして、行動しながら軌道修正をする。そして人のために、いつも元氣一杯に全国を駆け巡る。諸君と寅さんのそれぞれよいところを足して二で割ると素晴らしい生き方になる。

自他ともに大切に!

養護教諭 森 豊子



ご卒業おめでとう。想い出深い三年間を送られたことでしょう。今、新しい出発の時を迎え、自分の夢と希望に向かって一歩前進です。自分を大切に、自分の周りの人も大切に思いやる心をもって一生懸命歩いてほしいものです。



「青春へのチャレンジ」

非常勤講師 高島 貞

いよいよ五稜中学校での課程を終え、各々の新しい道を進むことになります。

苦しい時には、逃避する気持ちを持たずに、全力で挑戦し、乗り越える努力が必要です。その結果、自信と実力が体得され、世界観が広くなります。青春はチャレンジの連続です。頑張ってください。

希望

事務職員 三上のり子

卒業おめでとうございます。

三年間頑張りましたね。卒業は新たな道へのスタートです。自分を大切に、希望を持って歩んで下さい。いつまでもお元気で。

新しい一歩を

事務職員 竹内 さとみ

卒業おめでとうございます。三年間、一緒に過ごした仲間と別れる事は寂しい事ですが、これからはまた新しい出会いが待っています。たくさん思い出、希望を胸に大きな一歩を踏み出して頑張ってください。

三年生の皆さんへ

用務 坪田 正明

卒業おめでとうございます。

これからの人生の中で、厳しい現実が待ち受けているかもしれませんが、どんな苦境にも負けないで頑張ってください。健康第一で！



卒業 おめでとう

用務 工藤 康博

新世紀へ向かって、とびたって、下さい。



他人には『やさしく』
自分には『きびしく』
後藤 賢一

「習うは一生」
Never too late to learn.
札内 征男

苦しいことに
遭遇したら
今日一日と思え。
菅谷 巖

“若い頃の苦労は
かかってでもせよ。”
チャレンジ精神で
充実した日々を送って下さい。
萩野 雅彦

日々の健康に心がけ、強い意志
をもってどんなことにも冷静に
対応できる人になってください。
森 豊子

大きな一歩より、
小さくても確実な一歩を!
佐藤 雅博

夢と絆。T
竹内 マチカ

優しさを
世に伝える務め
阿部 由

Don't worry! Be happy!
挫折弱さを恐れず、前向きに生きよう!

浦野 志織
広い視野を…… 高島 貞

流水は凍らぬ 大打 俊幸

「おごるは、いばるは、おせざるは、くさるは、まけるは、」
大宅 剛

“自分
に甘えるなよ”
名古屋貞俊

祝卒業

Health is a jewel!

辻 吉隆

他人をも大切にする。

辰巳美純子

『成せば成る』 思いやりの心で…
三上の子
“という気持ちで花を咲かせる”
頑張ってください。 戸田 修

自然と音楽と、
魂とふれあって
あなたを豊かに
育てます。

鯨川 裕祐

一人はみんな
のために!!
みんなは一人
のために!!
ムロ 哲也

忍耐一ぱん程は
吉 四 次

自分の目でものを見、

自分の頭でものを考え、

自分の体で仕事を
— 一人が人間になってください。
教頭 小林武征

月日は自らの過客にして
竹をわきまの舟に旅人なり
良い旅を…と願っています。
田中 篤子

塩はしょっぱく
砂糖は甘い
人生 ちよつと 甘辛、
信田 博之

“挨拶は力なり”
“継続も力なり” 桑野 健一

初心忘れず 阪井 恒雄、

前進あるのみ 工藤 康博

自分を大事にする人は

他人をも大切にする。

辰巳美純子

御卒業していく皆さんへ

一年A組 橋 本 貴 裕

卒業生の皆さんへ

一年B組 齊 藤 めぐみ

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

私達が皆さんと過ごしたのは、一年間というわずかな時間でしたが、先輩達と学校行事、部活などを通して過ごしてきたこの一年間で、入学した時の大きな緊張と不安が今ではすっかりなくなっています。私達一年生はいろいろとお世話になり本当ありがとうございます。

私達が入学した頃は、中学校生活がどんな物かよくわからずに、とても不安でした。けれども、先輩達が様々な行事や活動に生き生きと参加している様子を見て、「三年生の先輩達のように中学生生活を送れたら、」と不安が希望に変わりました。

私達はこれから次の一年生を迎えるにあたり、先輩達を手本として一生懸命がんばっていきたいと思います。先輩達も自分の夢・希望を現実のものとするために一生懸命がんばってください。自分の求めるものを達成するには、最善だけを信じ精いっぱいがんばることで、自分の可能性を信じあきらめずにがんばってください。五稜中で学んだことを忘れずに自分の道を一步一步進んで行ってください。三年間ご苦労さまでした。

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

私達一年生は、先輩たちと一緒に学校生活を送ったのは、この一年間だけでしたが、学校行事をはじめ、いろいろとお世話になりました。

最初、この学校に入学したばかりの時は、先輩がこわいと感じていたので、緊張と不安でいっぱいでした。けれど、学校行事などのおかげで、先輩がこわいというのは消えて、逆に、おもしろくて、みんなを楽しませてくれる先輩たちだなと思い、今では、すっかり不安も消え、楽しい学校生活を送っています。

もうすぐで皆さんは短いようで長い中学校生活を終え、それぞれの道へと向かって、この五稜中学校から旅立って行くことになっています。この三年間での楽しかったことや苦しかった時の思い出は、数多くあることでしょう。これからの思い出は、これからの自分のために大事な物になると思います。

私達は次の一年生をむかえる立場として、三年生の先輩達をみながら、二年生の先輩がたと共に、一生懸命がんばっていきたくてと思います。先輩達も、これから一人一人ちがう自分の夢へとむかっています。先輩達も、これからの思い出は、あきらめずがんばってください。

この五稜中で学んだことを忘れず、自分の夢・希望のもとへ一步一步あせらずゆっくりと前進して下さい。

がんばり屋の先輩達へ

二年C組 越山元貴

卒業生の皆さんへ

二年A組 井口綾乃

～在校生より

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

ぼくは転校してきたので先輩達とは一年半しかいっしょに生活していませんが先輩達のものしさはすごく感じました。委員会や部活動、それに色々な行事等、あらゆる面で先頭をきり、僕達をリードしてきてくれました。そのたのしい姿は僕達の良い手本となり、その姿を見て僕達もがんばってきました。その一生懸命に取り組む気持ちには、きっとこれからの皆さんの人生に大きく役立つものと思います。いつか皆さんの前に挫折という壁があらわれるかもしれない。しかしどんなことにも負けず、一生懸命に物事を取り組むことができれば、皆さんならどんな壁でも乗り越えていけるとぼくは思います。皆さんはもうすぐ長いようで短い中学校生活を終えて、一人一人が自分の夢を目指すために別々の道を歩んで行くんだと思います。しかし、この三年間で生まれた数多くの思い出は忘れないでほしいです。一人一人この五稜中学校には色々な思い出があるのでしょう。その思い出を大事にし、いつか大人になったときに思い出してみてください。

最後になりますが、最初に言ったように一生懸命に取り組む気持ちを忘れないでください。一生懸命にがんばれば、報われるというのは絶対だと思います。僕達もそんな先輩達のようにになれるようにがんばりますので皆さんもがんばってください。僕達もみんな応援しています。

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

先輩達とは二年間、この「五稜中学校」で生活してきました。その中で私達は、委員会活動や部活動など、その他いろいろな面で、先輩達にお世話になりました。何事も、一生懸命にがんばる姿が、私達の良い手本になったと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。

先輩達はこれから、自分の夢を叶えるために、それぞれの道を歩んで行くと思いますが、その中で、時には、辛い時や苦しい時があるかもしれません。そんな時は、この三年間で、嬉しかった事や楽しかったことを思い出してみてください。きっとがんばれると思います。それから、自分の長所を十分に生かすことができるように、自分の可能性を信じて、あきらめない心を忘れないで、がんばってください。

さて、来年は私達が三年生になるのですが、先輩達が教えてくれた、「自分を信じる心」と「周りを愛するやさしさ」を忘れないで、五稜中学校が、より良い学校になるように努力していきたいと思えます。

これからの長い長い人生には、いろいろなことがあると思います。が、この「五稜中学校」で学んだことを誇りに、「一生懸命」を忘れないで、いろいろなことを精一杯がんばる先輩達でいて下さい。体に気をつけて……。

中学校で学んだこと

三年B組 榎 克博

三年間を終えて思ったこと

三年B組 黒田 慎也

あつという間の三年間、今、卒業する立場になってみて、時の流れの速さを感じています。

僕は、三年間の中学校生活で、いろいろな事を体験し、たくさんの事を学びました。ここでは二つの事について書きたいと思います。

一つめは、一つの目標に向かって、何かを継続してやることです。僕は、部活動はサッカー部でしたが、この部活は、個人でやるのではなく、チームでやるので、みんなと同じ目標に向かって、練習を続けることで、団結力が強まり、試合でもいい結果が残せるようになります。それと、勉強面では、朝自習をみなさんの中には、めんどくさがってやっていない人もいますが、一日十分、一週間で六十分の勉強をすることになるし、僕も毎日やって、成果が出ているので、みなさんもやってほしいと思います。

二つめは、失敗しても何度でも、あきらめないで挑戦してみることです。失敗をしたあと、そのまま、それはできないと思ってしまうたら、一生後悔すると思います。しかし、何回でも挑戦して努力して、それが成功した時の喜びと達成感は、すばらしい物だと思えます。これからは、僕は、チャレンジする気持ちを忘れないでいきたいと思えます。

最後に、在校生の皆さんは、まだまだ中学校生活はあるので、いろいろな楽しい思い出を作って、有意義で充実した日々を送ってほしいと思います。

過去二年間、卒業式で先輩方が一人一人卒業証書をもらうのを、後ろの方で見ていた僕達が、いよいよ卒業することになった。しかし、三年生という立場で一年間過ごしてきたけれど、卒業生という実感があまりないのは三年生全員の中で僕だけなのだろうか？ 前書きはこのぐらいいにしてそろそろ本題に入ろうと思う。僕がここで書くこと思ったことは二つある。

一つは、勉強(内申点)のことである、僕は一年生のころ全然勉強をしなかった(たくさん遊んだ)だから先輩方や母達に、「三年生になってから後悔するよ。」

と口ぐちから言われた。でも僕は、「だれが後悔するか!」と強く思っていた。しかし、今の僕は、後悔先に立たず、ということわざをずっしりと重く感じている。「あと二つ成績があがったらランクも一つあがるのに。」一年生の時のつけが回ってきたのだ、すごく後悔している。これを読んでハッとしたり人は、まだ絶対にばん回できるのと同じ道を歩まないようにがんばって下さい。

二つめは普段の行動のことである。美術室に「○○先輩カッコイイ♡」と書いてあった。今度は、これを書いた人も他の先輩の人も、次は皆さんがカッコイイ先輩にならなくてははいけません。でも、それは顔ではなく行動がカッコイイ(立派)先輩になって下さい。

最後になったけど、みなさんも卒業するときに「楽しかったな。」と思えるよう努力し、一日一日を大切に、そして有意義な学校生活を送って下さい。

部活動 ○○○○○○

一年間の活動記録



部活動が終わって

野球部

三年間の想い、そして、これまでの成果をぶっつける中体連。僕達も「優勝」を目指して頑張ってきました。しかし、一回戦四対一と思ってもよらない結果になってしまい、二年半活動してきた部活に終止符を打つことになりました。しかし、この大会を含め、この三年間で大切な事を学び、忘れられない思い出ができました。新人戦では準優勝することができ勝つ喜びを知り、中体連では改めて野球のむずかしさを体でおぼえることができました。この三年間の経験は、きっと高校で野球をやっていくのに役に立っていくと思います。

一、二年の後輩へ、野球は一人の力だけでは勝つことができません。どんなことがあってもみんなを支えあっていくことが大切です。最後には「みんなの力で勝つことができた」と言えるチームを目指して、常に努力を惜しまず、頑張ってください。

最後に、いつも迷惑をかけた僕達を見捨てずに指導してくれた後藤先生、山口先生、陰で支えてくれた吉田先生、今まで本当にありがとうございました。

(荒木田 保記)



ボールを追いかけた三年間

サッカー部

僕がサッカー部に入った頃は、試合に勝てなくていつもくやしい思いをしていて部活がおもしろくありませんでした。しかし、今のチームは、みんなサッカーが好きで、チームワークもよく、良いチームなので、毎日の部活が、楽しくなりました。

中体連では、一回戦強豪銭亀沢中学校と対戦し、一対一でPK戦になり、三人目が終わって、一対三で負けていましたが、奇跡の逆転で勝ちました。二回戦では港中学校と対戦し、一対〇で惜しくも負けてしまいました。本気で中体連優勝を目指していただけに、とても悔しい思いをしました。僕は部活で、厳しい(特に夏の)練習や試合などを経験して、日本代表のように、試合に勝つことの難しさを実感し、どんな時でもあきらめない強い心を得ることができたと思います。



一、二年生は、後悔しないように一生懸命練習して、一つでも多く試合に勝てるよう、がんばって下さい。最後になってしまいました。名古屋先生、萩野先生、御指導ありがとうございました。

(榎 克博 記)

部活動を振り返って

卓球部

この二年半を振り返ってみると、さまざまな経験をしました。この短い二年半の部活動の中で、高橋先生、杉山先生、戸田先生と三人の先生方から指導を受けました。

高橋先生の練習は厳しく、まじめにやらない生徒には真剣に注意や罰を与え、厳しく生徒を見てくれました。その結果、市内の中体連では団体優勝、個人では一位から四位まで独占と輝かしい成績を卓球部に残してくれました。杉山先生は、冗談も通じる明るい先生で部の細かい所まで目をくばり、部で不足している物があれば、できる範囲で補ってくれました。また、大会前には他校との練習試合を組んでくれたので、あまり頼りないと思っていました。戸田先生は新卒の先生だったので、あまり頼りないと思っていましたが、高橋先生や杉山先生とは違い、生徒達と真正面から向き合って、自らが先頭に立ちたり、また、生徒の一人として、ゲームに参加したりと、精一杯僕達卓球部を、盛り立ててくれました。短い二年半の部活動の間、支えてくれた先生方へ心から「ありがとうございました」と言いたいと思います。



(山本 俊幸 記)

チビっ子軍団

男子バスケット部

僕達男子バスケット部は市内でも五本の指に入るほど弱いチームでした。その原因はおそらく背の高い選手がいなかったことと、三年が全然いなかったからだと思います。他のチームはスタメンが全員三年生なのに対してうちのチームはスタメンの三年は二人だけでした。僕がバスケット部に入部した時は十五人ほどいたのに二年になると五人、そして三年の時には五人でした。しかし副キャプテンの中川君が家庭の事情で引越してしまい結局中体連では四人だけで迎えることになってしまいました。そして迎えた中体連では五十点差の大差で負けてしまいました。僕としては全力を尽くせなかったのでこの悔しさをバネに高校でもバスケットをしたいと思います。

後輩たちへ、技術がなくてもやる気があり、がんばることが出来ればきっと自分の満足のいくプレーが出来るようになるので途中で投げ出さずがんばってください。

最後になってしまいました。三年間熱心にばくちちに指導してくれた信田先生、その他お世話になった先生がたどうもありがとうございます。(浅田 光博 記)



好きになって

女子バスケット部

バスケットボール。それまで私はバスケットボールに少しも興味を持っていませんでした。だから、毎日の練習もつらいと思っていたし、やめたいと思った事も何度もありました。でもそれがいつからか心の中から消えて、バスケットボールが好きになっていました。練習のきびしさは変わらなかったけど、それは二年生になった時からでした。私は一年生を見て驚きました。自分なんかよりも、ずっと上手かったからです。それ以来、練習の時は「後輩に負けてたまるか」という気持ちでいっぱいでした。

新人戦、冬季リーグ、そして中体連。どれをとっても負けてばかりでやさしかったけど、かえてそれは「次こそは勝つ」という気持ちにしてくれました。

後輩たちへ。がんばれ。そして心からバスケットボールを好きになって下さい。

最後に、私たちに熱くご指導して下さいました信田先生、副顧問の田中先生、本当にありがとうございます。(菊池有紀子 記)



部活への思いと感謝

テニス部



私達はどうしても試合に勝てず、練習試合、中体連ととにかく試合という試合に負け、とても悔しい思いをしつづけてきました。きっと周りの人もテニス部は弱いと思っていたことでしょう・・・しかし、私達はそんな事にもめげずに自分達で悪い所を反省しあったり、体力ない事に気づいてグラウンドを何周も何周も走ったりと一生懸命頑張ってやってきました。でも、三年間すべてがこんなに良い部活ではありませんでした。先生との意見のくいちがいが、友達関係の問題などいろいろ苦労した時もありました。それなのに部員のほとんどがやめると言わず良い部活にしようとなっていました。私は、そんな部活を誇りに思い、後輩達へ託していこうと思います。だからお願いです。私達三年ができなかったベスト16入り、団体戦三位入賞を達成して下さい。そして、もっと高い目標をもち、それに向かって、つき進んでいって下さい。

最後になりましたが、こんな私達でも一生懸命お世話してくださった辻先生、大宅先生、とても感謝しています。長い間どうもありがとうございました。(福井 理美 記)

部活で学んだこと

バレーボール部



私達バレー部は強い部活とは言えませんでしたが、でも、三年間部活をやって、様々な事を学ぶことができました。上下関係に悩んだ事や試合で勝って喜んだ事など、みんなががんばってこれたと思う。だから、私は「バレー部に入って本当良かった」と心から思える。そして、三年間一緒にがんばってきた仲間は私にとって「最高の仲間」です。

中体連。あの涙は、もちろん負けましたことにくやしさや後悔は大きかった。でも、それ以上に、もう部活ができないということが悲しかったように思う。つらい事もあったけど、放課後、仲間と過ごした時間は私にとって忘れられない思い出です。

後輩達へ、私達はたよりない先輩だったかもしれませんが、でも、あなた達なら、私達に勝つことのできなかった中体連で、いい結果を出すことができますと信じています。がんばってください。

最後になりましたが、いつも熱心に御指導してくださった佐藤先生、そして、その他お世話になった先生方、三年間、本当にありがとうございました。(小橋 沙織 記)

三年間の思い出

コンピュータ部

僕がコンピュータ部にはいつて、三年がたつてしまいました。思いつくことやはり、はやいなあと思いました。昨年と比べると部活動も活発になり、ソフトの数もパソコンも増えてきています。

今年は、文化祭用のゲームづくりをしましたけどとんどの人が時間が足りず未完成だったのがほとんどでした。でも、未完成なのは「やだ」という人もいて、文化祭の後、家で完成させた人もいました。この三年間で学んだこと、思い出になったことができました。パソコンの基礎、仲間達との関係などがいろいろと学んだことや思い出になったのだと思います。

この三年間で、さぼった人や、辞めた人、などが多かったなあと思えました。でも、僕はしかたないなあと思います。部活より遊ぶほうが好きなんだろうと思っています。

部長として、一年間やってきました。後輩達のために何もできなかったことが残念です。

最後になりましたが、伊勢先生、大村先生、三年間ありがとうございました。
(内山 博記)

「新たな課題」

吹奏楽部

吹奏楽コンクール。この日のために私達は一生懸命練習してきた。私が三年生になる時顧問が変わり今年はどういう結果になるか全く予想がつかなかった。結果は金賞だった。

全道大会出場にはあと一歩ということだった。あまりに悔しくて私は涙もでてこなかった。それと共に芸術の難しさも知った。野球やサッカーのようにハッキリした点数で勝敗が決まるわけじゃない。審査員一人一人の好みや感性で順位が大分変わってしまう。私はそれがとても悔しかった。でもよく考えたらやはり原因がある。それは全ての聴衆を感動させることができなかったことだ。ほとんどの審査員は良く言っているが何人かは言っていない。「この曲嫌いだけど三年生になってやると私は気がついた。後輩たちはこの課題を常に意識してほしいと思います。それからもっとも自分の楽器を好きになって音の研究を続け、次のコンクールでは全ての聴衆に感動を与えてほしいと思います。最後に桑野先生、浦野先生、辰巳先生今まで熱心な指導をしてくださりありがとうございました。」(網森 智子 記)



大成功!!

演劇部

「今年の文化祭は成功できるのかなあ。」これが部長になって初めて部員を見た時の気持ちだった。部員数たったの五人という不安いっぱいではないんだ、今年の文化祭。私も途中で「やりたくない」とか、みんなが協力してくれない時「早く文化祭が終わればいい」となげやりになりそうな時もありました。しかし、文化祭が近づいてくるとみんな真剣になってくれて、部員よりも多い大道具の皆様にも支えられ、無事文化祭を大成功に収めることができました。また、今年は函館演劇研究会主催の「函館市小中学校合同演劇発表会」にも出演させていただき、忘れられない文化祭となりました。

部活を通して学んだ事は、あきらめないでがんばれば、良い結果が出る、ということ。私達三年生が卒業すると、たった一人になってしまふ一年生の理沙ちゃん、がんばって部員を集めてまた来年も文化祭で大成功を収めて下さい。

最後になりましたが、部員より多い人数で手伝ってくれた大道具さん最後までわがままをきいて下さった萩野先生、本当にありがとうございます。

(飛野 衣美 記)

美術部の魅力とは

美術部

美術部、それはまだ新設されて、二年という若い部です。私が二年生の時に、できた部なのです。その時、私も入部しました。そして、その時から、美術部という、今まで五稜中になかった新しい部活動が始まったのです。

今までになかった部活に、期待しながら、私は美術室に入ったのです。初めは、画材をそろえる事から、始めました。今まで、見た事のないような筆や、何に使うかわからないような物も色々ありました。しかし、まだ初め、ということ、絵の具と筆とパレットを用意しました。この時買ったのは、アクリル絵の具という物で、パレットも普通の物とは違って紙製でした。それだけで、私は驚いていました。絵を描くのは好きでしたけれど、専門的な事は、全然知らなかったからです。

美術部は、美術の授業より、一步進んで、より美術に深い所を学びます。それが、この部の魅力とも言えます。

そしてそれらを、越田先生といっしょに、楽しく学ぶことができ大変、有意義でした。

(森山 裕香 記)



〈常設部活動 部長一覧〉

部 名	前 期	後 期
野 球	荒木田 保	山 崎 溪
サ ッ カ ー	榊 克 博	藤 島 一 美
テ ニ ス	福 井 理 美	伊 藤 香菜絵
男子バスケット	浅 田 光 博	西 口 三津夫
女子バスケット	菊 池 有紀子	伝 福 莉 菜
バレーボール	小 橋 沙 織	田 中 望
卓 球	山 本 俊 幸	柴 谷 竜 太
吹 奏 楽	綱 森 智 子	杉 村 絢 子
美 術	森 山 裕 香	及 川 奈 美
コンピュータ	内 山 博	関 口 健太郎

平成9年度 部活動一覽

常設部活動

野 球 部	後 藤T	山 口T	吉 田T
サ ッ カ ー 部	名古屋T	萩 野T	
テ ニ ス 部	辻 T	大 宅T	
バケツトボール部	信 田T	田 中T	
バレーボール部	佐 藤T	笹 谷T	
卓 球 部	戸 田T	阪 井T	
吹 奏 楽 部	桑 野T	浦 野T	辰 巳T
美 術 部	越 田T	鮫 川T	
コンピユータ部	大 村T	伊 勢T	

特設部活動

演 劇 部	萩 野T		
家 庭 部	鮫 川T	辰 巳T	
英 語 部	浦 野T	後 藤T	
イ ラ ス ト 部	笹 谷T		
環 境 部	田 中T		

平成9年度卒業生

思い出をこのページに残して



祝福

卒業して行く少女に

眼許をうるませて
恥じらって

少女は大人になろうとする

胸の中でふくらんで

ほころび開こうとするものがあるけれども

白い天使のような厳しい心をも持とうとしている

霧の中に夢みるのはいいことだ

淡い花の香りに眠り

薄明に覚めて

膚にしみる寒気を知るのもいいことだ

少女は いま

朝焼の空に向かって

弾んで飛び立つ

A8

(小海 永二 による)



名古屋貞俊先生

長谷川佳奈 福井 理美 中川 真理

木村 麻子 金浜 綾乃 小泉 幸恵

本間 奈美 寺島 麻里 斉藤 恭子

田中志穂美 根本 美佐 高橋佳代子

樋本 彩佳 黒鷗 香織 小川 マリ

石田 実佳 泉 綾子 札内校長先生

石塚 祥平 岩間 雄喜 山口哲也先生

福井 貴男 村井 康平 嵐 政則

美濃谷 誠 鈴木 勇太 渡辺 浩幸

木村 冬悟 佐々木浩二 納口 雄吾

小泉 義貴 吉田 涼 松本 学

川島 弘至 木村 隼人 大塚 洋明

田口 大祐 横沢 篤 中谷 宇一

3A

3-1-Aというと

山口級

題の通り3-1-Aという、良い所がありすぎて一言では紹介できません。しかしそれは始まらないのでなん点か説明しましょう。ふつうなら最初に学級のチームワークが良いとくるだろうが、3-1-Aのいい所は何といっても先生と生徒の間の壁があまりないことだと思ふ。先生に対して敬語でないのはあまり良くないのかもしれないが、うちのクラスでは、先生と堅苦しい感じで会話をすることがあまりなく、親しみがある。これはベジの人の柄の良さの現れだろう。時にはらっきよと対をはるようなギャグを言って寒くなることもあるが、これはよしとしよう。このせいでないが、クラスの中はいつも明るく話し声が絶えない。もう一つの良い所は、前半でふれたチームワークの良さだ。これが発揮されたのは合唱コンクールの時だった。これについてはクラス全員が自信を持って言えると思うが声出しの練習から本番までの意気込みや一生懸命さは校内1だった。その結果が金賞だ。最後に山口先生、いろいろとありがとうございました。そしてNICEなクラス3-1-Aを忘れるな!

(木村 冬悟 記)

卒業生一人一言 3-A編

自分自身の努力したい

BANG BANG LU LU

ウォーズマングーズ的な奴もいた

総統よりモグラへ・反射VFIX

いつか夢はかなう

明日こそすばらしい日だ

New World Order

①愛されるよりも

②愛したい

③マージでー

夢のためにいま努力

つかれた

今初めて気がつく夢なんて幻だと

苦痛苦難さエブリデ

大正桜にロマンの嵐

鼻

卒業おめでとうございます。

一期一会 また会おう

オロナミンC

ミヤムー

嵐 政則

石塚 祥平

岩間 雄喜

大塚 洋明

川島 弘至

木村 冬悟

木村 隼人

小泉 義貴

佐々木浩一

鈴木 勇太

田口 大祐

中谷 宇一

納口 雄吾

福井 貴男

松本 学

美濃谷 誠

村井 康平

横沢 篤

吉田 涼

渡辺 浩平

右回りの時計or左回りの時計?

V6の中で誰が好き?.....①

①すべて 忘れないで松井稼頭史

②誰かを 愛せるよに

③広い空の下二度と会えなくても

④生きてゆくのかな私のこと

⑤心からあなた愛してくれた

deep gratitude

⑥全て 包んでくれた

時は奏でて想いは本間けん♡50円

リリース延期ター坊対いなーきー

コングラッチュ レイション!!完

おいしい お茶、飲みませんか?←

やっぱり茶流彩爽健美茶だよー

タイトル未定 いざいざ門間寛。

やっぱ♡岡田くん♡.....②

⑦まるでひだまりでした星に願いを

石田 実佳

泉 綾子

小川 マリ

金浜 綾乃

木村 麻子

黒嶋 香織

小泉 幸恵

齋藤 恭子

高橋佳代子

田中志穂美

寺島 麻里

中川 真理

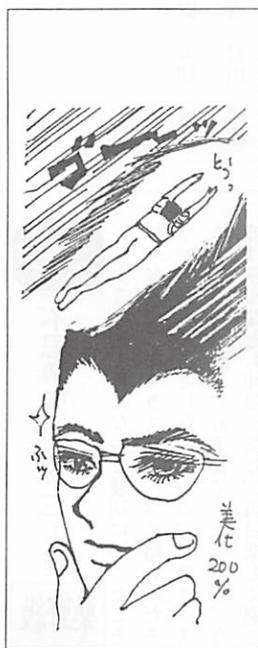
根本 美佐

長谷川佳奈

樋本 彩佳

福井 理美

本間 奈美





長谷 拓	深澤 宏太	齋藤 英司	西川 将太	石澤 政幸	黒田 慎也	川村 航平	榎 克博	千葉 慎吾	佐藤久美子	波多野弘美	永山 茜	伊藤真莉絵	木村 麻衣	工藤有希子	菊池有紀子
鏡山 佑樹	橋本 雄介	竹内 直行	高橋 洋平	藤木 晴公	高橋 洋平	青柳 淳行	仙福 裕美	鈴木 くみ	鈴木 くみ	木村 彩乃	田口三知代	小橋 沙織	高橋 美帆		
本間 雄介	村田 直樹	内山 博	中村 嘉貴	砂子田賢一	中村 嘉貴	桑野 先生	高松麻衣子	金子 美貴	金子 美貴	中尾明日香	瀬戸 真希				

3B

不思議なクラス三ーB

桑野級

私がこの三ーBになって最初に思ったことは「なんでこのクラスはこんなに暗いんだろう」ということでした。だから、このクラスになじめるのかとても不安でした。でも、今ではみんなとも仲良くなり、毎日楽しく過ごしています。それは、桑野先生がこのクラスを明るく盛り上げてくださったからです。先生は声が大きく、何でも一位が好きです。しかし：校内体育大会、合唱コンクールはともに二位。そして、球技大会は男女とも四位と惜しくも？一位をとったことがありません。でも、この三ーBが一位だと言えることが一つだけあります。それは授業の始まりと終わりの「あいさつの声の大きさ」です。これだけは、どのクラスにも負けないと思います。この三ーBは個性的な人が多いため、ままとまりのあるクラスではないけど（仲が悪いわけではない）それがこのクラスのいいところでもあると思います。

最後に、桑野先生と三ーBのみんなへ一言！
一年間、ありがとうございました。卒業しても、友達でいようね！

（小橋 沙織 記）

卒業生一人一言

3-B編

ポケモンゲットだぜ。

STARTING OVER

P・S・今あなたを迎えに行く

キライになれないこの学校

明鏡止水の心をもつべし

心寄せる場所を探していた日々

二度とさめない永遠の眠りへ。

Bye, Bye

また会う日まで 君を忘れない

サビだらけの鉄人

虚構の始まり

多き思い出は未来への自信

フグ毒は土に埋まるといらいらしい

向日葵さんみたいに大きな子!!

君がいたから。。。。

世界の始と終局の扉

死んでも二人一緒だよ。。。

無駄無駄無駄無駄無駄無駄!

僕は死にまじゅ〜ん!?

とりもどせないあの季節

青柳 淳行

砂子田賢一

石澤 政幸

内山 博

鎭山 佑樹

川村 航平

黒田 慎也

齊藤 英司

榎 克博

高橋 洋平

竹内 直行

千葉 慎吾

中村 嘉貴

長谷 拓

西川 将太

橋本 雄介

深澤 宏太

藤木 晴公

本間 雄介

村田 直樹

①果てしない マリエ

隆一とみきはLOVELOVE

②あの雲の彼方へ キク

③私のあただなはキムさんよ!

④私を連れていって マイ

⑤その手を離さないでね♥サオ

レディース波多野組総長よろしく

⑥ちがう!キムチンだ!

⑦天使がくれた出会いは マキ

ハイ、さいなら。

⑧いやいやちがうキムッチョよ!

行くぜ!波多野組特攻隊長!

波多野組組長補佐反町LOVE♡

⑨あの空をつきぬけて アスカ

レディース波多野組組員よろしく

波多野組初代組長ですわっ。

⑩永遠に響き続ける アッキ

伊藤真莉絵

金子 美貴

菊池有紀子

木村 彩乃

木村 麻衣

小橋 沙織

佐藤久美子

鈴木 くみ

瀬戸 真希

仙福 裕美

高橋 美帆

高松麻衣子

田口三知代

中尾明日香

永山 茜

波多野弘美

工藤有希子



が仲よく協力
が仲よく協力
が仲よく協力
が仲よく協力



- | | |
|-------|--------|
| 河元 亮太 | 下川原雅斗 |
| 清水 祐司 | 気仙 拓也 |
| 笠原 英耶 | 阿部 聡 |
| 長浜 潤 | 中山 大輔 |
| 荒木田 保 | 伊辺 貴紀 |
| 小野 祐介 | 大坂 隆宏 |
| 佐藤 勇太 | 海辺 耕平 |
| 柳町 秀明 | 野口 尚也 |
| 西村かおり | 藤山なお子 |
| 江口 敬子 | 飛野 衣美 |
| 工藤奈津子 | 長谷川由香里 |
| 竹田 育美 | 星沢 三奈 |
| 岡田 裕美 | 国分 恵子 |
| 藤島 奈々 | 中森 美帆 |
| | 柏 慎子 |
| | 森山 裕香 |
| | 高橋 絢子 |
| | 赤山 由 |
| | 大谷 祥行 |
| | 中村 亮太 |
| | 葛西 大慶 |
| | 土橋 真明 |
| | 田中 先生 |
| | 瀬戸恵美子 |
| | 紗矢加 |

3C
協力し合うクラス
田中級

僕達のクラスの担任の田中先生は、年のわりにはスタイルがよく、甘い言葉で男子を誘ってきたり、厚化粧で年をごまかしたりしています。そんな田中先生ですがとてもやさしく、時にはキビしく生徒一人一人を見守ってくれました。副担任の大村先生は、理科のややこしい問題や進路についてとても熱心に教えてくれました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

僕達のクラス三年C組は、はじめがなく、男女が仲良く協力し合う明るいクラスです。仲が良すぎるせいか休み時間と授業のけじめがありません。そのためテストのクラス平均が学年の平均点を上回ることがなかなかありませんでした。そんなC組でも、合唱コンクールはがんばりました。前日まで、全然声が出ていなかったのに本番では今までの練習がうそのように会場をわかせました。結果は、クワイマックス賞でしたが、実質四位でした。結果は悪くてもクラス全体で協力してとった一枚の賞状でした。最後になりますが、いろいろと助けてくれた先生方、本当にありがとうございます。

(東谷 祥行 記)

卒業生一人一言 3-C編

三年間、ありがとう

みなさんどこかで会いましょう

忘れない 数え切れない想い出を

先生方3年間お世話になりました

レッツ GOOO?.....

いつかきつと・・・会える日まで

さようなら。

ロイヤルストレートフラッシュ

三年間ありがとうございました

今まで、ありがとうございました

三年間どうも

また逢う日までサヨナラ

いつかあえる日まで

エンジョイ

やっぱり東高に行きたかったなー

今までありがとうございました

三年間 ありがとうございました

ジャイアン、死んじゃいあん。

ゲームは万病の元?

清く正しくいきてください。

東谷 祥行

阿部 聡

荒木田 保

伊辺 貴紀

大坂 隆宏

小野 祐介

海辺 耕平

葛西 大慶

笠原 英耶

河元 亮太

気仙 拓也

佐藤 勇太

清水 祐司

下川原雅斗

土橋 真明

中村 亮太

中山 大輔

長浜 潤

野口 尚也

柳町 秀明

いつか、中田くんに会いたい♥
 ドラえもん募集中! 高く買います
 英寿くんと結婚したよ♥英♥裕美
 お世話になった先生方ありがとう
 JIROのお嫁さんになります♥
 Brilliant Years

パイバイキン

燕龍はMADDEINCHHAINA

松岡 充は、竹田 育美の物よ♥

○拓哉から始まるイエーイ天井ゲ

これからもずーっと大坂俊介。

トニヤンもよろしく。

○ムイェーイ天井天井天井剛

3年間ありがとう.....

裕貴くんのお嫁さんになりたい♥

物事はクールに考えよう

先生方3年間お世話になりました

普通の3年間でした。



赤山 由

江口 敬子

岡田 裕美

柏 慎子

工藤奈津子

国分 恵子

瀬戸恵美子

高橋 絢子

竹田 育美

飛野 衣美

中森 美帆

西村かおり

長谷川由香里

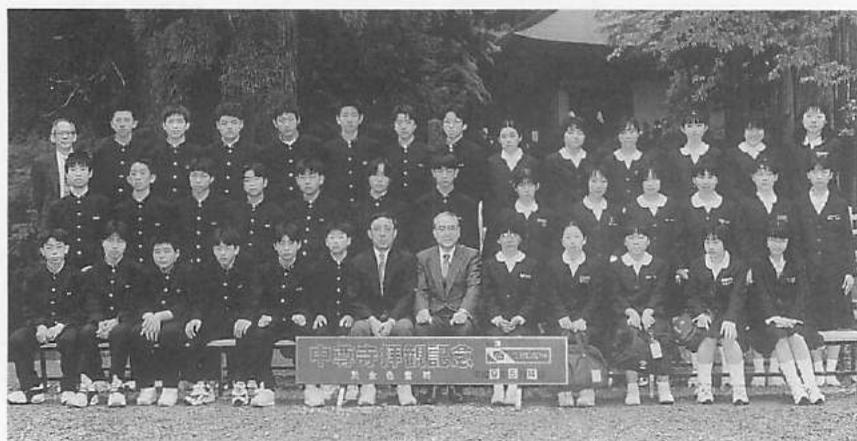
林 紗矢加

藤島 奈々

藤山なお子

星沢 三奈

森山 裕香



伊勢 先生	山本 俊幸	池田 貞幸	榑引 政寿	石黒 恭平	富樫 直人	浅田 光博	津谷 雅則	村川 理恵	吉田 佳澄	信田 真希	山田めぐみ	網森 智子	橋 明子
	津軽屋大樹	高橋 堅司	大島 正典	國本 雅	太田 年春	竹内 裕行	岡本 彰	梶原 麻由	水野 盟子	沖本 並子	輪島 朋香	横田 友美	古館 寛子
島谷 聡	鶴田 康介	奥山 活	新田 浩之	八木橋 章	佐々木秀人	後藤 先生	校長 先生	岡本奈緒美	原 瑞恵	太田 千恵	風林由香里	上田真理恵	

3D

3年D組の実態

後藤級

3年D組は「ごっち」の名で親しまれている後藤先生率いる、とてもまとまりのあるいいクラスです。男女の仲がよく、校内の行事では、合計九枚の賞状を取り、学年最高の団結力です。それにとっても楽しいクラスです。授業中でおかまひなしにうるさくて、教える方にとっては、とてもいやなクラスかもしれません。しかし、いつまでもはしゃいでいたわけではありません。入試直前のあの集中力は、はんばなものではありませんでした。皆自分の希望を目指し、休み時間さえ勉強するほど真剣でした。このようにけじめもある、まさに言うことなしのクラスで、これからも他学級の目標となるのはまちがいないでしょう。

私達はもう卒業ですが、三年間のフィナーレをこのクラスでむかえられてとてもよかったですと思っています。これからは、一人一人別々の道を行っていくわけですが、その糧となる良い経験はこのクラスの中だけでなく、三年間の中で得ることができたと思います。

後藤先生そして、3年D組

『パンサーイ』!! (岡本 彰 記)

卒業生一人一言 3-D編

大空へ大きな夢をのせて

重い腰をあげますか。

思い出達よさいならつきよ

3年間ありがとう

お元気で!

遥かな夢に向かって

ぼっくり

おじいさんは言いました

桜咲くこの場所が僕はとても好き

ホットロード

オニドリル

サルチャダメか??オレはイイゾ♥

井戸はとつてもいーどー

SEE YOU AGAIN!

がんばってください。

Human&Life

大きな夢を胸に・・・。

田中は煮て待て

三年間の思い出を大切に。

継続は力なり

浅田 光博

池田 貞幸

石黒 恭平

大島 正典

太田 年春

岡本 彰

奥山 活

楠引 政寿

國本 雅

佐々木秀人

島谷 聡

高橋 堅司

竹内 裕行

津軽屋大樹

津谷 雅則

鶴田 康介

富樫 直人

新田 浩之

八木橋 章

山本 俊幸

World Wide Love

I、♪あったまてかてくか

入試は、がんばってやってやる。

まきへ。ポケポケまきちゃん♡。

ヴィヴィアン♡ヒス*83*87

目指せ恋愛関係100点満点

II、さえてピカピカ

OZONE COMMUNITY

なみ子へ。鼻つまりなみちゃん♡

III、そ〜れがどおしくした

目指せ／恋愛関係パーフェクト!

6%DOKI DOKI

IV、私は一体誰でしょうか?♪

目指せ／恋愛関係・絶対調♡

目指せ／恋愛関係・大成功!

Beauty&Stupid

目指せ／恋愛関係パーフェクト!



上田真理恵

太田 千恵

岡本奈緒美

沖本 並子

風林由香里

梶原 麻由

橘 明子

網森 智子

信田 真希

原 瑞恵

古館 寛子

水野 盟子

村川 理恵

山田めぐみ

横田 友美

吉田 佳澄

輪島 朋香

平成9年度 生徒会テーマ

Spread Our Wings

～翼を広げて～



3年A組 中川 真理



2年A組 根本 佐紀



1年A組 小橋 雅美

修学旅行記



迫力という演技、演技という迫力

三年C組 森山裕香

修学旅行初日、五月十二日である。中学校修学旅行の第一の見学場所は、「小坂康楽館」であった。その日、長い間バスに乗り、この旅行も、あまり気乗りしなかった私は、気分が悪くなっていた。しかし私は、小坂康楽館という名に、少しわくわくした。本当の演劇を見られると思ったからだ。

舞台があり、黒子さんが話をしている。何でも、かなり古い歴史があるらしい。部屋が暗くなる。なんと窓も人が閉めていた。後に知るが、この装置は全て手動なのだそうだ。幕が上がり、出てきたのは若者三人。何やら、お笑い係の顔つきで、江戸っ子風の歩き方をしている。そして、どうやらこの話の主人公らしい、年のいった人とお姉さんが現れる。

舞台はかなり面白かった。演劇の内容よりも、やっている人達がどうしてあんなに一生懸命なのだろうと思って、笑えてきた。けれど、馬鹿にしているわけではなくて、役者の迫力に圧倒されていた。そして、その真剣な演技にちゃちゃを入れたりする人達には、腹が立っていた。演技は、真剣に見るのが、礼儀なのだと思う。



十二日と十三日の間で

三年C組 中山 大輔



その日僕は眠れなかった。それは今日の疲れなどに全く関係なく僕は眠れなかったのだ。今日は五月十二日いや、もうすでに十三日になるうとしてゐる。ああ、どうしてこんなにも僕は眠れないのだろう。

すでに消灯時間からどの位たったのか、外ではさきほど怒られていた連中も許されたらしく静かだった。僕らの部屋ではもうすでに四名ほど夢の中だ。最初元氣だったみんなも一人、また一人と眠りについていった。さて、そろそろ僕も眠ろうかと、僕は瞳を閉じた。「……?」「……?」どうやらベット組の二人が起きていたらしく話をしている。不意に、「ガチャ」という音とともに、熊のような大きな影がノ名古屋先生だ。懐中電灯を持っている。見回りに来たらしいが、すぐ行ってしまった。ベットの二人もなんとか切り抜けたらしい。ホッとした僕は少しずつ、まどろみに落ちていった。

僕の目に一筋の光が射し込んできた。そして、次に視界に入ってきたのは寝始めた頃から想像もつかないほど乱れた布団と、全く別の場所にいるみんな、そして清水君の丸い頭だった。

純白の湖

三年C組 清水 祐司



修学旅行の中で、一番印象に残っているのは、竜泉洞です。とても暑い日だったのですが、鍾乳洞の中は冷たい空気が肌にふれ、とても気持ちよかったです。

鍾乳洞の中を見学すると、すき通った水が流れていて、きれいでした。展示物を見ると、土器や石器、コウモリのはくせいがあり、昔の生活の様子が浮かんでくるようです。鍾乳石が、刃のようにするどくきばをむいていました。

竜泉洞の清水は、世界でも有数の透明度を誇っているというところととてもきれいでした。竜泉洞から流れ出した清流、清水川は新緑のみことな溪流美を見せていました。上の方で、ガヤガヤと声かしていたので後から聞いてみると気仙君が足をすべらせ階段から落ちたそうです。しばらく歩いてみると、ポタリと背中に落ちた物が…僕は思わず「うわぁー。」とさげんでしまいました。それはただのしずくでした。

はしゃいでいたばくがぼうせんと立ちつくすほどの湖は、ばくの心に深くきざみこまれたことでしょう。

うみねこと遊覧船の旅

三年A組 本間 奈美



二日目、岩泉竜泉洞を出発し、田老に着いた。そこで私達をまちぶせしていたのは、うみねこと遊覧船との小さな旅でした。

何も知らない私は、田老に着いた時、多くのうみねこが空を飛び交っていたので私達を出迎えてくれたのかなと思ひ、胸いっぱい気分でした。ところが、それは私の思い過ごして、ここではうみねこはえさをもたえらるとわかってから集まっ

たんだと納得しました。

うみねこ用のえさは人袋五十円で給食に出てくるゴマパンのようでした。えさを買っているうちに、たくさんのうみねこが遊覧船をとり囲み、出港する前にえさをあげ終えてしまひ、出港した後の一瞬楽しい時にえさをあげられないという人も少なくありません。えさを投げると、うみねこは優勝と言っているように上手にえさをキャッチし、えさを手にのせて宙につき出すと食べに来てくれ、びくびくしている私達を感動させてくれました。

このひとときは短かったけど、身をのり出してみんなでえさをあげながら感じた喜びは、最高の思い出の一つとなりました。

遠野で学んだこと

三年D組 山本 俊幸



僕は旅館を出て、今日の最初の目的地遠野へとバスに揺られながら山の中を走っていました。その途中、鹿などの野生の動物が出てきたり、険しい道でバスが左右に大きく揺れたりといろいろなハプニングもありました。また、バスの窓からふと外に目を向けると、一面、木々や山が連なり、東北地方の背骨となる奥羽山脈にいつい見とれていました。

そして、遠野に着くとガイドさんに先導されて、建物などを見学しました。建物の中には、今では見ることのできなくなったりしちりん、ふすまやしやうじなどの日本独特の伝統、風情のある客室が明治から大正初期頃の状態で忠実に再現されています。また、歴史的にも有名な柳田国男が民族学調査を共にした、折口信夫やネフスキー等が宿泊した柳翁宿や、柳田国男がこの世を去る寸前まで家族と共に生活していた家など、貴重なものを見られました。中学校の勉強では、学ぶことのできないものを得ることができたと思います。この経験は、修学旅行の一ページとして永久に忘れないでしょう。

魚とともに舟の旅

三年D組 信田 真希



私達をのせて、バスは狛鼻溪に着いた。船頭さんと一隻の舟とともに私たちの舟下りが始まった。辺りのすばらしい自然ときれいな空気で私の酔いはすっかり消えていた。それよりも何よりもみんなの目は水の中の魚にくぎづけだった。手を入れてつかまようとしたり、お昼の弁当のおかずなどを与えたりなどもう夢中だった。魚たちも、舟と一緒に続いて、まるで、今日来た私達を歓迎してくれているようにも思えて、みんなそれぞれの願いを込めてお金を投げ入れた。この舟旅の最大の目的である船頭さんの狛鼻追分を聞いた時、何ともいえない雰囲気包まれ、周りの景色とともにその歌声に聞き入っていた。それまで無口だった船頭さんも岩の一つ一つを説明している時の表情はとてもうれしそう得意気だった。そうしているうちに、私達の舟下りも終わりに近づいてきた。最後の見送りのように魚たちも私達の後を泳いできた。やっと船頭さんともなじんできた所で心残りがあったが、すばらしい歌声と自然を満喫し、みんなはここ狛鼻溪を後にした。

中尊寺金色堂を見学して

三年D組 小橋 沙織



三日目には、中尊寺を見学しました。たくさんのお堂や数々の国宝・重要文化財があり、藤原氏が三代に渡って築いていたことが分かります。中でもそれを最も象徴しているのは金色堂です。ガラスごしに見えることはできませんでしたが、その名のとおりほとんどが金色でした。装飾も、柱から仏壇まで全て細かい工夫がしてありました。この金色堂の中には、基衡・秀衡・泰衡の遺体が納められているそうです。寺の境内はとても広く、階段を上がったり、下りたりしました。本堂では、お守りやおみくじを売っていて、おみくじを見せ合ったりして楽しみました。所々まだ八重桜などが咲いていたり、大きな木があったりと自然も豊かな所でした。ガイドさんの説明を聞いていなかった人もいましたが、見学するところでは、みんなまじめに見ていたと思います。他の学校の人たちなど、人がたくさんいるのに、なぜかとてもおちついた印象を受けました。様々な工芸品等を見て、とても勉強になったと思いました。

旅の最後の思い出 マインランド尾去沢

三年B組 長谷 拓



修学旅行の最終日十五日の一番最後に行ったのがマインランド尾去沢でした。当初の計画では日本最大級の遺跡と言われている三内丸山遺跡に行く予定でしたが、突然の雨により足場が悪いということで、このマインランド尾去沢に行くことになったのです。

マインランドというのは鉱山で、その中に昔の作業風景が、動く作業員の人形や、レールにのった貨物などによって再現されており、とてもおどろきました。鉱山の中ではマグシーバーという、場所ごとに説明が流れてくるウォークマンのようなものを耳につけて歩きました。入ってすぐは、ただのきたない洞穴で前に行った龍泉洞との違いが大きかったです。けれど歩いていくうちにレーザー光線が飛び交っている所や、目には見えないけれど一定の光の場所だけで体や髪が光り始めて不思議な感じがありました。その他にも、壁に鉱物がうまっているところなどがあり、とてもおもしろかったし、鉱山のつくり等、学校の授業では学ぶことのできないものまで学ぶことが出来たので、とてもよい経験になったと思います。

「修学旅行を終えて」

三年A組 木村冬悟



最初から最後まで修学旅行の感想を言うと「楽しかった」の一言が終わってしまうかもしれない。

しかし、その中身は一言では表せないたくさんの体験があった。僕の思い出に残っている所で例をあげると、水というものはここまで綺麗なのかと驚いた童泉洞、晴れわたった空の下、美しい風景を見ながらカモメと戯れた浄土が浜、切り立った岩肌が印象深かったげい鼻溪など他に

もたくさんある。
旅館での思い出という、男子は興奮を隠しきれなかったであろう最後の風呂場、就寝時間を守らずに夜中も友達と会話をしたこと、友達の知らない面を知ることができそれはそれで楽しかった。またみんな知っているだろうが、不要物を持ってきて見つかり三十分以上正座をさせられた所もあったがこれはこれで良き体験であった。

他にも書ききれないくらいたくさんのことがあり、一人一人修学旅行についてはさまざまな思いがあると思うが、僕達の心の中の楽しい思い出の一つになったことは言うまでもないだろう。

平成
9年度

栄
誉
を
讃
え
て

この一年の
軌 跡

体育行事

〈函館市中体連競技大会〉

☆ 陸上
〔男子〕

二年一〇〇M	第一位	辻	雅彦
二〇〇M	第一位	辻	雅彦
一〇〇MH	第六位	浅田	光博
一五〇〇M	第六位	富樫	直人
八〇〇M	第八位	荒木田	保
四〇〇MR	第五位	樋口	裕一
		高畠	康輔
		太田	竜刀
		辻	雅彦

☆ サッカー

〔女子〕

一〇〇MH	第五位	信田	真希
一〇〇M	第五位	小山内	裕香
一〇〇M	第七位	坪川	沙織

函館市サッカー協会ベストイレブン

富樫 直人(三年)

函館協会選抜選手(中学生の部)

榎 浩幸(一年)

☆ バスケッ卜

函館地区選抜選手(一年の部)

斉藤 千愛(一年)



文化行事

・「小さな親切」実行章
函館市立五稜郭中学校

〈小・中学校の

税に関する書道展〉

・特選 金子 美貴（三年）

〈南北朝道学生書道展〉

・銀賞 田原 織恵（二年）

・秀作 田中 望（二年）

〈青少年読書感想文

コンクール〉

・入選 谷 俊孝（二年）

〈社会科学自由研究作品展〉

・銅賞 越山 元貴（二年）

岡本 信之（二年）

〈消費者生活ポスターコンクール〉

・優秀賞 早坂 麻衣（二年）

中村 牧子（二年）

・入選 磯西 沙耶（二年）

高橋 尚子（二年）

田中 香織（二年）

古川 智幸（二年）

田原 織恵（二年）

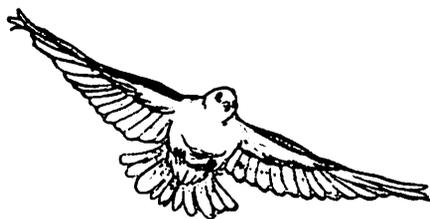
桶本 隆明（二年）

森 あゆ美（二年）

〈吹奏楽コンクール〉

※北海道南ブロック大会

C 編成の部 金賞



1・2年 学級プロフィール



一年A組

個性豊かなクラス

辻 吉隆 先生

一年A組は、男子二十人、女子十六人の計三十六人で構成されています。明るく楽しいクラスですが、少しはじめがないと言うのが欠点です。入学時は、みんななれない環境で緊張して、とても静かなクラスでしたが、今はとても仲のいいクラスです。授業中は、何人かの私語がめだち、よく先生に注意されています。また、授業中になると静かになる人もいます。そして休み時間はとてもうるさくなります。

我が一年A組の成績はというと、体育大会は、女子一位、男子一位、総合一位というすばらしい成績をおさめることができました。一人一人が自分の種目がんばったということがよくわかると思います。しかし、文化祭の合唱コンクール、球技大会は、おしくも三位でした。でも一生懸命やれたからそれはそれで良かったと思います。

このうるさいクラスを支えてくれた、声が大きく、背の高い辻先生はとても大変だったと思います。辻先生は、給食のパンを集めたり、たまにうけをねらって言ったりもするけど、ぜんぜんうけなかつたりと、すこし？かわった先生だと思いました。

入学してからあつというまででした。これから、この一年A組のメンバーで過ごす日はあとわずかか、このメンバーは一度と同じメンバーで同じクラスになることはないのですから、一日一日大切に、明るく楽しいクラスで過ごしていこうと思っています。

(木村 香苗 記)



一年B組

「笑いの絶えない一年B組」

越田 喜忠 先生

私たち一年B組は、みんなにぎやかで、笑いの絶えないクラスです。授業中も元気がよく、騒がしいので、先生方にしかられがちですが、みんな楽しくやっています。

ときどき元気がよすぎて、教室中をドタバタと駆け回って、まるでバカに見えてしまう人がいたりします。

担任の越田先生は、おもしろいニックネームがいろいろとついている楽しい先生です。つまらないオヤジギャグを飛ばしては、教室を北極にしている先生です。私はもっと新しい話題で、クラスのみんなを驚かせて、いままでのイメージを吹飛ばしてくれることを期待しています。そんな越田先生も、このクラスの担任になって、とても、とても苦労していると思います。

なぜなら、このクラスには、困ったことに、問題児が数人いるのです。その人達が、なにかふざけて悪いことをする度に、越田先生はクラスの全員を居残りさせて、たんたんと、説教とまではいかなくても、その事件を起こした人達をしかるのです。

みんなは早く家に帰りたいものだから、口をそろえて、ブーブー文句をつけるのです。そうして、帰るのが遅くなるのを、最近では「越田デー」と言うようになりました。

いつも、問題が起きたり、騒動があったりと、休む暇もないほど一年B組は、やかましく、楽しいクラスです。でも、こういう事がいつかは、良い思い出になると思います。

(森山 理紗 記)



一年C組

「C組は、一番」

信田 博之 先生

C組は、団結力のあるクラスです。例えば、体育大会では総合一位。文化祭の合唱コンクールでは、見事に金賞。球技大会では、何と男女共優勝。何を取っても、C組はすごいのです。団結力だけは他のクラスには、ぜったい負けません。団結力だけではありません。男子と女子がすくく仲良しです。だから、けんかもないし、いじめもありません。だけど、テストなどをすると、平均点がいつも、一番下だと怒られます。時々、授業がうるさくなったり、チャイム席を守れなかったりと、悪い点もあります。先生に怒られる回数が、一番多いかもしれません。だけど、今は、みんな注意し合い、うるさかった授業も、少しずつなおっています。悪いところもあれば、良いところもある一年C組の学級目標の一つに、協力し合い互いに助け合う学級とあります。この目標の通りに、一Cは、みんなで協力することがとても得意なのです。だから、文化祭、体育大会で見事な成績を出したのだと思います。入学した時には、みんなすくく静かで、どうなるのかと思っていたけど、今はクラスの人たちが全員で、ワイワイガヤガヤと、にぎやかで、そのにぎやかさは、一年生の中で、一番です。学活、掃除当番・給食当番、何をとっても一Cが一番です。挨拶も、自分たちで進んでします。クラス全員での学級会でも、みんな積極的に発言するので、委員会、各係が一時間もたたないうちに決まります。その係もみんなきちんとやっているのので、一Cは、何も困りません。このように一Cは、一人一人がしっかりしている、とてもいいクラスです。

(金子 理美 記)



二年A組

すごい学級

荻野 雅彦 先生

私たちはA組の学級目標は「すごい学級」です。この目標を決める時やはり決めました。「すごい学級」といわれても、ピンとこなかったからです。この「すごい学級」の中には、いろいろな意味が含まれています。まず一つめは「明るく協力しあう学級」です。明るさは、どのクラスにも負けないくらい明るいのです。この明るさは、A組のとってもいい特徴でもあります。「協力しあう学級」も、この一年を通して、みんな頑張れたと思います。校内体育大会では一人一人が頑張り、クラス対抗リレーでは一位になり、総合成績は二位でした。これはやっぱりみんなが協力できたからだと思います。文化祭の合唱コンクールでも、けんかしたりいろいろあったけれど、本番に近づくとつれて全員が一生けん命になり、本番では、誰もが予想もしなかった銀賞に輝いたのです。これもやはりみんなが協力したからだと思います。

二つ目は「けじめのある学級」です。このけじめをつけるには、少し時間がかかったと思います。担任の荻野先生はあまりおこたたりする先生じゃないので、始めはすぐ調子にのりうるさくなったりしてしまいました。でも最近では、先生の言う「けじめをつけることの大切さ」が少しずつわかってきて、一人一人が「今はけじめをつけなきゃいけないな」と思えるようになりました。今の二年A組は、一学期のA組より全員が確実に成長したと思います。

これから三年生にむけて、もっと成長できたいと思います。
(高橋 侑子 記)



二年B組

一致協力するクラス

浦野 志織 先生

私達二年B組は、本州から来た、教師になって二年目になる、若い女の先生が担任の男子十五名女子十四名の元気がありあまるくらい明るいクラスです。四月に新しいクラスが始まった頃は、おたがいにクラスが変わったばかりで他人行儀でよそよそしく、また授業中や帰りの会でも持ちまえの元気のよさを出しすぎて先生からおこられたり、担任の先生からは「うるさくてけじめがない」とよく言われていました。今でも二年B組の短所はけじめがないことです。しかしただ単にけじめがなく明るいだけのクラスではありません。一年間の行事を振り返ると様々な長所が、数多くあります。とくに文化祭の合唱コンクールが印象に残っています。たまたまばくが指揮者で、みんなの歌っている姿を見ていたのですが練習のときはみんなだらけいているが目立ちました。しかし本番になるとすっかり僕の指揮を見てくれ一人一人が出せる限りの声を出し、歌っていました。少し気をぬいたところがあり途中笑ってしまい惜しくも優勝は果たせなかったけれどみんなが一つになるとこんなすばらしい合唱になるのかと感動しました。文化祭に限らずすべての行事においても見られました。このように二年B組は一見けじめのない非協力的なクラスに思えますが、実は違い、とても見どころのあるクラスだと思っています。これから私達は三年生になりますが、みんなが今よりけじめを持ち、一つになるということを忘れないで中学生生活最後の一年を有効に使い、また大切に使い、将来にむかってがんばって

いきたいと思えます。
(志村 博紀 記)

二年C組



本当のよい点は……

佐藤 雅博 先生

二年C組は一言でいうとおもしろいクラスです。はっきり言って二年C組を紹介することは、むずかしいです。むずかしいというのは、それぞれ個性をもった人たちがたくさんいるからです。本当のところ三十一人を一人一人紹介したいけど、書ききれません。だから全体の紹介をします。

C組はよい点があれば悪い点もあります。悪い点があればよい点もあります。悪い点はんたんに見つけることができます。でもよい点は見つけることはなかなかできません。そのよい点をみつけてそれをいかしていこうとしています。別によくしようとしているわけではありません。いつもなにげなくしているだけです。じゃあC組のよい点はどうと……それは最後に。いつもうるさく、注意され、忘れ物して、だらしなないC組も、やる時はやります。体育大会では賞状は六まい。合唱コンクール金賞、球技大会、女子準優勝という数々のよい成績が残されています。この賞状は楽にとれることは絶対できません。野を越えて、山を越えてやっとなどついたものが、ここにされるされています。優勝をすることよりも、このことが一番すばらしいことだと思います。

最後に二年C組のよい点は、みんなが、元気で明るく、いじめもなく学校生活をたのしんでいることがC組のよい点です。私達は二年C組という大きなものをあたえられたのだから、残り少ない二年生での生活の中で、学級を作りあげていきたいと思っています。

(三浦 沙文 記)

二年D組



私から見た2年D組

笹谷 巖 先生

私たちのクラス、二年D組は、男子十七人、女子十四人、計三十一人で構成されています。私から見た二年D組は、正直に言うと、静かで、明るいというクラスではないと思います。特に一学期のとき、〃なんでこんなに静かなんだろう〃と思うほどでした。

今もそんなに明るいとは言えないと思いますが、だいがこのクラスになれたのか、一学期のときに比べると、少しは私語が多くなりました。それはたぶん、男子と女子が以前よりも仲がよくなっているからなのだと思います。クラスのみんなの仲がいいことは、とてもよいことだと思います。

また、それ以外にも、私たちのクラスのいいところがあります。それは、欠席者が少ないということです。D組は、ほとんどの日が、全員そろっているのです。欠席者が少ないということは、みんなが元気で健康という証拠なのです。

しかし、よいことばかりではありません。最近、私たちの授業中の態度が悪くなっています。授業をまじめに受けないのは、よくないことなので、直していかなければなりません。

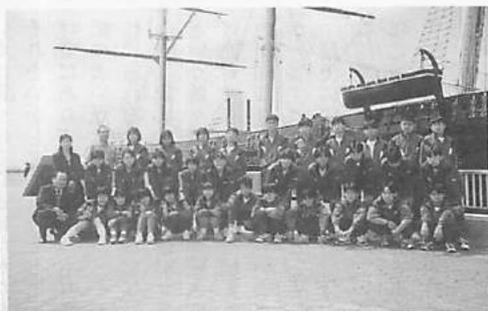
担任の笹谷先生は、生徒のことをきちんと考えてくれている先生です。何か問題があったときなどは、心を鬼にして、注意してくれます。私たちは、同じことで注意されたりします。

でも、注意されながら、だんだんと成長していくのではないでしょう。私たちが、もう少しで三年生になります。みんなに尊敬されるような先輩になりたいと思います。

(田中 香織 記)

宿泊研修

☆☆☆☆☆☆



旅行記

☆☆☆☆☆

カムイ パボニカ アーホイヤ

二年A組 小 関 浩 子

私は、この宿泊研修を楽しみにしていました。「研修」という言葉も忘れて、ただみんなで泊まれるとか、みんなで遊べるとか、友達同士で行く旅行感覚でした。

研修に行く最初のバスの中からさわいでいました。そのバスガイドさんの話を聞いたりいろいろなことをしていました。「車という字を手のひらに三回書いてのみこめばよわないよ」とかいろいろなことを教えてくれました。いろんな話の中でも、「アイヌのおまじない」というのがあり、両手を上げて「カムイ」と言って片手を胸に『パボニカ』と言ってもう片方の手も胸に『アーホイヤー』と言って両手を上げるものを三回言うやつを教えてもらい、一番印象的でした。これで晴れになるといので、このおまじないをみんなで行ったら本当に晴れました。ただ、偶然晴れたのかもしいないけど……。研修も終え、ホテルに行きました。部屋に入った瞬間『おーすっごーい。』と思いました。その部屋から見える景色も最高でした。

自由時間になり、おかしを食べながら私達の部屋でテレビを見ていました。けっこう怖いやつだったので、電気を消して見ていました。寝る時間になり、一日のまとめなどをして、友達とストレッチをしたり、話をしたりしました。私は小学校のころから、みんなよりさきに寝る方なのに、ぜんぜん眠れませんでした。でも一度少し寝て、目がさめて起きたら、またぜんぜん眠れなくて起きました。でもまただんだん眠たくなり、寝て起きたらもう七時でした。

すばらしかった開陽丸

二年B組 志村博紀

八月二十七日、ついに好奇心あふれる一泊二日の短い旅が始まった。バスの中は最初は暑かったが、しだいに冷房がきいてきて涼しくなり、眠くなった。この日の前の夜は楽しみで楽しみで興奮して眠れなかったので、バスの中で寝ようと思ったが、みんなこれからの冒険に興奮しているのか元気で騒がしく眠れなかったので疲れた。景色はどんどん変わっていき、空を見上げるといつのまにか雲がなくなり晴れになった。晴れたおかげで、奥尻島がうっすら見えた。あれが津波で何百人という人が亡くなった奥尻島かと思わず口に出そうになったが、せっかくの宿泊研修なのに気分が台無しになると思いやめた。しかし、今は海や島全体がきれいでも何百人も亡くなったなんて思えなかった。もうすぐで江差に着く。とくにあの榎本武揚が使ったといわれている最高級の船、開陽丸の復元したのを見学するのが楽しみだった。初めに、開陽丸についてのビデオを見た。社会で勉強している戊辰戦争のことなども少しふれており、とても興味がある話で勉強になった。ビデオを見終わった後、開陽丸へむかった。開陽丸の中では班行動だったので調べやすかった。船は地下一階、一階、二階と分かれていて、とても広かった。ところどころにゲームや説明してくれるコンピュータがあり楽しんだ。大砲のたまやいろいろな貴重品もありおおいに勉強になったこんなに大きい開陽丸が沈んでしまったのは榎本武揚に大きな影響を与えたんだなあと思うと、少し気の毒に思えた。



満天の星空//大沼の一夜

二年C組 坪川 沙織

宿泊研修は、二年になってから一番楽しみにしていた行事でした。バスに乗って、走り出すと、バスガイドさんが、話しているにもかかわらず、ほとんどの人が話をしていました。そして、江差につくと、これから開陽丸見学や、自主研修が待っているというのに、はつきり言って、ほとんどホテルの方を一番楽しみにしていた私は、見学などが全然楽しくなくて、ずっとホテルの事ばかり考えていました。そしてついに、一番楽しみにしていたホテルへ着きました。何よりも早く、自分達が一夜を過ごす部屋を見たくて、先生方に走ったらだめだと言われている、つい走ってしまった自分達の部屋を見た時、私と友達は、うれしさのあまりに、二人でベットの飛びこみました。そして、他の人の部屋に行ったりして、自分達の部屋に入ると言われたあとは、部屋の中のものを見たりしていました。その日の夜、もう寝る時間だとは知りつつも、友達とこっそりカーテンを開けて空を見上げた時、函館よりも数倍多く輝く星にびっくりして、つい見とれてしまいました。

次の日、バスに乗ってから、私はすぐ寝てしまい、もう起きたころには、思っていた以上に短かった宿泊研修は、終わっていました。三年生になってからは、これより多く宿泊する修学旅行があるもので、今度は、見学や研修などがあっても、まじめに取り組み、きまわりを守って、この宿泊研修よりも、もっと大きく、自分の思い出に残るような修学旅行にしたいと思います。

思い出の宿泊研修

二年D組 杉村 絢子

私は宿泊研修にいき色々な思い出ができました。楽しい思い出やちょっと思い出したくないような思い出まで……。

一日目の朝、私はとても寝不足だったのでバスでよわなかががとでも心配でした。しかし学校に行きみんなバスに乗りたくさん話していたらようのも忘れてしまいました。

初めに見学に行った所は開陽丸でした。私は新聞も開陽丸について調べることになっていたのではりきって調べよう／＼と思っていたのですが、実際みんなと一緒に開陽丸の中に入ったら、友達や自分の写真をとるのに熱中してしまい、あまり開陽丸のことは調べませんでした。今はその時のことをちょっと後悔しています。そのあとに行った自主研修では班員全員が協力して色々なことをしました。行った場所は、中村・横山家・郷土資料館・法華寺とたくさんでした。ちょっと坂が多くて大変な所もあったけど、楽しくできてよかったと思っています。

そして次は私が一番楽しみにしていたホテルでの一夜です。ホテルは思っていたよりも立派でした。夕食もたくさん出て残してしまいました。おふろは入らなかったですけど、髪を洗面所で洗い先生方におこられてしまいました。そのことも今では一つの思い出となっています。疲れていたこともあってか私達の班は、良い子たちなので十二時には全員寝てしまいました。おかげで次の日はパッチリ元気でした。

特集・校外学習体験記

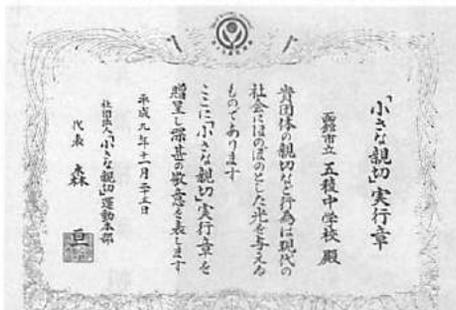


亀田川清掃を通して学んだこと

三年 江口敬子

最近、テレビでも新聞でもボランティアという言葉をよく目にしますが、我が五稜中でも亀田川清掃を始めて五年目になります。例年、この清掃は休日に行われているのですが、今年には学校のある平日ということでも人数が集まらないのではないかと、私は内心とても不安でした。ところが、それにもかかわらずたくさん生徒の皆さんが参加してくれて、朝早くからゴミを拾いながらすがすがしい気分になり、また協力し合ったおかげでゴミをたくさん集めることができ本当によかったです。

今年五稜中は「小さな親切実行章」として表彰を受けましたが、これは皆さんが一生懸命に清掃奉仕に取り組んだ成果だと思います。これからの二十一世紀、ボランティア活動がもつと重視されるようになると思いますが、表彰してもらえないからという気持ちではなく、あたりまえのこと、人のため、自分のためになることだからという心構えで、このすばらしい伝統を引き継いでいてもらいたいです。



変わる亀田川

三年 本間 奈美



私は、この三年間「亀田川を美しくする活動」に参加し、改めて「ボランティア」というものを考えさせられました。ゴミ拾いだけがボランティアとは言えないが、この小さなことからの活動が、自然を守り、地球をやさしくしてあげられるのではないのでしょうか。

亀田川を鴨の家族が泳いでいる光景を見たことがある人もいると思いますが、つい何年前前の亀田川からは予想もつかない光景です。水の濁りは少々あるけれど、清掃活動を始めると共に、この川も大きく変わっているのがわかり、ほっとします。

この亀田川清掃活動は、朝が早いので眠たい目をこすってしまいが、清掃を終えた後には目も覚め、身も心もスッキリします。年々、参加する人が増えていると同時に、これからも、これは五稜中学校の活動として続いていって欲しいと思います。

ボランティア体験学習（ワークキャンプ）

三年間の思い出

三年 高橋 美帆

私は、去年も参加したけれど、今年も今年で楽しかったと思います。いろんな友達ができてうれしく思います。ここでは、先輩も後輩も関係なく過ごせました。夜は四時三〇分頃まで話をしていたあまり寝なかつたので朝はすごく眠かつたです。去年は、ぜんぜん寝なくて、家に帰ってから寝ました。今年も、家に帰ってから寝ると思います。



今年も、ゲームも去年と違つたので楽しかつたです。それから一番楽しかつたのは、「愛泉祭り」です。今年も、新たに金魚すくい、輪投げなどを行なつていたので、すごく楽しかつたです。途中で、友達もきてくれて一緒に行動してました。私は今年で最後だけれど、来年は、友達も連れていきたいなあと思っています。来年は、今年以上におもしろいゲームなどがあればいいなあと思つています。

最後に、この三日間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

愛泉寮に泊まって

二年 吉田 玲 菜

初めて、今回のワークキャンプで、ちゃんとした「ボランティア」というものを体験しました。お年寄りのお世話を泊まりがけでするなんて、かなり大変だと思っていたけど、いろいろな人と出会え、楽しく過ごすことができました。

愛泉寮では、金魚すくいの出店をやることができ、お年寄りや小さい子供がたくさん来てくれて、忙しかったです。

ワークキャンプ最後の日に、自分で物を食べることができないおばあちゃんに、朝食を食べさせてあげることができました。いつも食べさせてあげている職員の人ほど、テキパキとは行かないけど、すごくいい体験ができました。

一緒に食事をしたり、ゲームをしたり、触れ合う機会はあったけど、もっと、触れ合う場を増やして欲しかったです。

二年 坂田 久 枝

始めは、老人とうまく触れ合えるか、みんなとうまくできるか心配だった。でも、会ったらみんなやさしそうな人ばかりだったのでも良かった。始めの一日は、愛泉寮で触れ合えたけど、金魚すくいだっただから、あまりおじいちゃん達は来てくれなかった。でも子供がたくさん来てくれたから良かった。二日目は、おそくまで起きていたから、眠かった。

おばあちゃんの部屋に食事をおきに行ったりしていた時に、目が見えないのに、だいたいのことがすぐわかっていて、すごいなあって、ちょっとびっくりした。九十六歳のおばあちゃんも元気に過ごして良かった。もっと長生きして欲しい。また、行きたい。

乗船体験に参加して

二年 増野 笑 子

乗船体験は二回目でしたが、今回は前回と違う船に乗りました。今回は、今年できたばかりの、高速フェリー「ゆにこん」に乗りました。船の中は、とってもきれいで二階席もあり、私は二階の席に座りました。しかも、二階の席に行く階段を登ると、小さなリビングが二つあり、そこでは新聞を読んだり、外の景色を見ている人達がいきました。私達も、そこで景色を見ながらゲームをやったり遊んだりしました。青森到着後、フェリーターミナルで少しの自由時間がありました。その間、おみやげを買いました。今回の乗船体験もまたいい勉強になりました。また、久しぶりに見る海は、とても大きく感じました。



文苑

次男はつらいよ

三年D組 櫛引政寿

次男はつらい。

次男といつても三人兄弟の次男で「まんなか」のことである。

確かに長男は「長男なんだからちゃんとなさい。」といつも言われたり、働くようになれば、弟たちに小遣いをあげなくてはならない。長男もつらい。

末っ子は誰にもいばれない。お下がりの服を着ることが多い。末っ子もなかなかつらい。だけど、この二人には特権がある。長男は、お下がりの服を着ることはないし、家の用事や手伝いも全然しない。さらに、弟たちをこき使うことができるなど、すばらしい特権が

ある。そして末っ子には、とにかくわがままがきくという、これもまたすばらしい特権がある。

しかし、次男には何の特権もない。しかもぼくは兄と弟の特権にはさまれて生活しなければならぬ。

ぼくは、毎日兄に「コップに水入れてジュース持ってこい。」とか「プラモデル買ってこい。」と命令された。ぼくはしぶしぶその言うことをきく。

母が兄におつかいを頼むと、兄はぼくに行かせる。ぼくは弟に行かせようとするが、末っ子の特権を利用され断られて、結局ぼくが行くことになる。だから母は、今となってはもう当然のようにぼくにおつかいを頼む。

さらに、弟からの攻撃がある。例えば弟が「パシッ」とたたくと弟は母のもとへ直行する。母はぼくに「五歳も離れているんだからがまんしなさい。」と言う。

そうだ、ぼくと弟とは五歳離れている。だから何だと言うのだ。確かにぼくと弟とは五歳離れているが、ぼくと兄とも五歳離れているのだ。なのにぼくは、兄からいじめられ、こき使われ、弟をしかるだけで母から怒られる。

しかし最近風が去ったように平和だ。兄は今、長野の軽井沢に就職しているのだ。だが弟は最近生意気になってきて、ぼくが「部屋片付けろ。」と言っても「うるせえ。」と口答えをしてくる。まだまだ末っ子の特権は健在だ。

さらに兄が時々軽井沢から帰ってくると、また兄と弟のはさみうちをくらう。いつまでも兄にこき使われ、兄にさからうことも、弟をしかることも従わせることもできないとは。いつまでこんな生活がつづくのだろう。はあ、次男はつらいよ。

本来の言葉とは

三年C組 江口敬子

今から三百万年以上も昔、私達人類の祖先が地球上に現われ、やがて木の上から地上へのくらしと変化していった。そして人類は互いに助け合って働き、働くことによって「ことば」というものを生み出し、それを発達させていった。そして現代の社会では、言葉は世の中の必需品となっている。

言葉は本当に便利なものだ。世の中のあらゆる物事がこれを原点として成り立っている。

それにもし私達の祖先が言葉というものを生み出してくれなかったら、この世の進化や進歩もなかったら。このように言葉は時代の流れや生活をよい方向へと導いてきてくれた。

ところが、今日の世の中で、私は言葉に何かもの足りなさを感じるようになってきた。言い換えれば、言葉のあり方に不満を持つようになつてきたということである。というより、本来この中に隠れていた欠点が、さらけ出されるようになってきたといえる。

それは、「自分の意志や感情を伝える」という本来の役割を果たすことができないことや、本来の役割以外の使われ方をされ始めてきたことだ。

人間、喧嘩をした時、相手から「ごめん下さい。」と謝られると、自分はどんなに腹が立っていても、やむを得なく許してしまうものである。この時、果たして互いの気持ちに通じ合ったのか。それは、互いの言葉ではなく、心に聞いてみなければわからない。相手が謝る気もなく口にしたのか、心から本当に反省して謝ったのかは、本人以外の誰にも理解できない。

また、嘘や騙しもその一つである。騙されている相手への笑いや憐れみをこらえながら

も、表面上はけろっとした顔で、他人と接している。

こんな崩れた人間関係が生まれだしたのも、本来の言葉の姿を知らない人間の最も醜い使い方から生まれてきたのではないのだろうか。

しかし、本来の姿を確信した上で上手に使用することだ。可能なのだ。

例えば定型詩がそれだ。これらは作者の感動を率直に表している。とくに俳句などは、たった十七文字の中に飾りのないありのままの感情が十分に満たされている。この上ない言葉の美しい使い方である。

このように言葉というものは、その人の使用の仕方でも様々な意味が生じてくるのである。

しかし、だからといって自分の本心や感情をそのまま素直に出してしまつて互いにつづけ合つても、ただ争いが起こり人間関係が崩れるだけでなく社会全体が混乱状態に陥つてしまう。このことから考えても、本来の言葉の姿を見極めて、パーフェクトに使いこなすのは、ほぼ不可能であるといえる。

しかし、ただ一つ私が言いたいのは、言葉を汚すのも美しくするのも私達人間なのだということだ。

どうすれば日常で本来の言葉を上手く使いこなせるようになるかは、まだ中学生の私達

にとつては容易には考えられないが、一人一人自分なりの意見や考えを持ってもらいたい。

変えるなら

三年A組 中川真理

新しい顔ぶれとの対面
今までの自分を知らない顔ぶれ
変えるなら、今

人生に正解はないので
よく考えなくちゃならない
これがいい、悪いは
人に決めてもらう事じゃない
選択するのは自分だ

十年後の自分に会つて
おだかやに笑えるような
そんな自分を創りあげてゆく

本当の福祉とは

二年B組 菅原真結

みなさんは、八月二十三、二十四日に行われた二十四時間テレビを見ましたか。

二十四時間テレビでは、いろいろなことをやりましたが、私が特に印象に残ったのは、やはり足が不自由な女の人が海を十二キロ泳いだり、脳性マヒの男の子が富士山に登ったりしていた姿です。

とても感動して、最後まで見ていました。ドラマの方では、突然の事故で足が自分の思い通りに動かなくなるという内容で、私達がいつ事故にあっても不思議じゃないということ、思い知らされた気がして不安になりました。

今まで、私は足に限らず体のどこかが不自由になるなんて考えても見ませんでした。はっきりしたことはわかりませんが、もし体のどこかがもう自分の自由にはならないと知ったら、いろいろなやんで結局はどうでもいいと思ってしまうでしょう。

なぜなら、足が不自由になったと考えるだけでも、今まで、何の苦勞もせずのぼって

た階段の一段一段が大きな障害となり、またバスや電車などの乗り降りもとても重荷になるからです。

そして一番つらいのは、他人から受ける偏見だと思っています。

階段やバス・電車などは、なおそうと思えばいくらでもなおせるでしょうが、人の心はそんな単純なものではないのです。

けれど、偏見というのは、ちょっとした心の変化ですぐになくなるものです。

そのために、体の不自由な人との交流を深めることが大切だと私は思います。

少しでも、心の痛みやつらさを理解することとで偏見がなくなっていくのではないでしょうか。

私たちは小さいころから、学校や家庭で人はみんな平等なんだと教えられてきたはずですが、それを、思い出してもらいたいのです。

今、私達は体の不自由な人との交流もほとんどなく、まるで違う世界にいるというような考え方になっています。

でも、ここで、もう一度考えてほしいのですが、私達もいつどこで体が不自由になるかわからないということですね。

体の不自由な人がこえていかなければならない壁は、とても大きなものです。

しかし、周りにいる私達が少しでも手をさしのべれば、その障害は小さなものへと変わっていくのではないのでしょうか。

私達一人一人の手は、とても小さくたよりないかも知れませんが、その手を必要としてくれる人は必ずいるはずです。

ですから、私自身も、これからもっと知っていかねばならないと思います。みなさんも興味をもって、テレビや本などを見て福祉とはどういうものなのかを知って考えてもらいたいのです。

それが、私達一人一人にできる、福祉の第一歩だと思っています。

高齢化社会について思うこと

二年C組 小上杏子

私たちの住む日本は、今世界有数の裕福な国となっています。国民は、他の貧しい国々と比較にならないほど、健康で、文化的で、そして何不自由なく暮らしています。

私の生まれた昭和五十八年には、日本はすでに高度成長を遂げ、大きな経済力を基盤に世界のトップレベルの生活水準に達していました。だから、私は今までの自分の生活環境

「うしろの正面だあれ」 読んで

一年A組 谷 俊 孝

この話は主人公、中根かよ子は、近所にすむ、友達や、父や母や兄弟と楽しくすごしていたある日、家族を失ってしまう。ある出来事に遭遇してしまいます。それは戦争という、悪夢でした。かよ子は、昭和八年（一九三三年）、東京の本所堅川今の墨田区に生まれ、四人いる兄弟の末娘でした。ぼくはもしできる事なら、これからおきてしまう不幸な出来事をかよ子に知らせてあげたいのです。

毎日楽しく暮っていたかよ子でしたが、五年生の時、空襲からのがれるために、かよ子は親せきの家へ疎開しなければなりません。ぼくは、戦争のせいで家族や友達からはなれなければならないかよ子が、とてもかわいそうだなと思いました。そしてかよ子は静岡県の沼津という所に疎開して、親せきのお家の手伝いや東京にいるみんなへ手紙を書いてたりしていました。しかし、三月十日の夜悲劇がおこりました。東京大空襲です。一夜にして十万人以上の人が死んでしまったその出来事。ぼくはすごくむごいと思いました。

一体、なぜ罪もない人たちを殺すのだろうか。でも、日本も真珠湾攻撃などひどいことをしたと思うと、とても悲しくなってきました。

たった一人だけ生きていたかよ子の一つ上の兄、喜三郎が親せきの家にきました。そこで、かよ子は父、母、兄弟たちの死を知らされました。かよ子がどんなにおどろいたか、悲しんだんだろうかと思うと、とてもかわいそうでした。かよ子も同じ立場になったら、きっと泣かずにはいられないと思います。後にかよ子は東京にもどり、自分の家の焼けあとを見て、とてもショックを受けたと思います。ぼくだったら、自分の生まれ育った家がなくなったら、これからどこで暮らしていけばいいのか、どうしようもなくなってしまうと思います。しかも、家族の悲しさ、さびしさや不安が気になってしまふんじゃないかと思ひます。

ぼくはこの本を読んで、戦争とはどんなに恐ろしく、悲惨で残酷で、そして、むなしにかがよくわかりました。この戦争で何万人の人が亡くなりました。中には出征していった兵士もいるでしょう。また、家庭にある鉄製の物やなべや、セルロイドの人形など回収されていって、武器などいわゆる軍事物資などにされていったけれど、結局、日本は敗戦してしまいました。かよ子は家族を失ない、そして住む家も失なっても、「がんばろう」という気持ちかわいてくるのは、とてもすごいなと思います。戦争という恐怖のどん底に落とされても、「がんばって生きていこう」と決意できるのは、やっぱりすごいなと思います。

ぼくの祖父も戦争を体験しています。祖父は、昭和四年生まれで、かよ子より四つ年上です。祖父は終戦になった時、十六歳でした。もう少し何年か早く生まれていたら戦場へ行ったでしょう。そう思うとぞっとします。ぼくは、毎年夏休みに祖父の家へ遊びに行きます。よくテレビで、戦争の番組が放送されていることがあります。その時、ぼくは祖父に戦争体験談を聞かせてもらおうかなと思ひました。かよ子ほどひどくはないと思うけど、祖父もこわい思いをしたことと思います。また、その時のいやな気持ちをひき出してしまつたら、祖父がかわいそうなので、聞こうにも聞けません。

ぼくは、この戦争という出来事があったことを、未来にずっと伝えていった方がいいと思います。この戦争の恐ろしさや、戦争は決してやってはいけないということを、今度は

ぼくらが伝えていかなくはいいけなでしよう。

つい先日、ぼくは、小樽港に来ていた、インディペンデンスを見学してきました。とても大勢の人々が来るだけあって、その大きさはものすごいものでした。こうした光景は今の日本が、平和だということですよ。しかし、人々の中には、戦争を体験したような年代の人が多く見られました。この人たちは一体どんなことを思いながら、空母を見ていたのでしょうか。きっと、少し、戦争の時の事を思い出していたのかも知れません。日本の海軍とこのような大きな船が戦ったのだろうかとか、そんな複雑な気持ちの人もいたとぼくは思います。

ぼくはこの本を読んでとても感動しました。かよ子の生きていこうという勇氣と、戦争はしてはいけないということがよくわかりました。これからもずっと日本は国際化を目ざし、いろんな国とも友好を深めていくことでしよう。しかし、今もどこかで戦争をしている国があるとニュースで見たことがあります。

早くその戦争をやめさせるべきです。でも、いつかはその戦争も終わり、核兵器もなくなる日がくるはずですよ。その日がくるまで、まだ本当の平和ではないと思います。一日も早く平和がくるようにみんなで助け合ったり、

仲良く暮らしていきたいと思えます。

書名『うしろの正面だあれ』
(第四十二回少年読書感想文コンクール入賞作品)

夏休みの思い出

一年A組 高橋玲奈

夏休み、久しぶりに会った私達は少しきこちなかったけど、最高の夏休みの思い出となった。何も変わっていないようで、変わったのは、私の方かなあと思った。昔の友達と会えたのはすごくうれしかったが、中国人の友達とは一回しか会えないことがとても残念だった。その中国人の友達は入院していて、外出禁止。病院の庭にも出る事が出来ないくらい重い病気でした。

その中国人の子は、六年生の時に、学年のほとんどからイジメられていました。その子がそばを通るだけで、逃げていたり、ひどい時には、その子の物がゴミ箱に捨てられていたり。それでも、毎日学校に来ていた。

私も、いじめられたことがあるので、その子の気持ちは十分わかっていたつもりでした。それなのに私もイジメを間接的に手伝ってしまった事は、友達として最低の事をしてしまっ

たんだなあ、ものすごく後悔しています。その上、その友達が受けていたイジメの内容とほぼそっくりな事が、今の私に降り懸かってきて、ようやく、その中国人の友達が心の中では思いっきり泣きたくても、みんなの前では泣けないどうしようもなかった気持ちがとてもよく分かりました。

今では、その中国人の友達とは親友で文通をしています。今もその友達はイジメられていて友達があまり居ないけど、学校にきちんと通っています。そんな友達を見て私はいつも感心します。私がイジメられていた時、頼れる人は親と友達しかいなかったから、一人ぼっちになると、不安で不安でとても心細かったのに、友達は胸を張って通学している。

その友達に、今イジメられているという内容の手紙を出したら、『誰かに相談してみたら、その人が味方になってくれるかもしれないよ。』という返事が来たので、で思い切った最近イジメられた事を同じクラスの友達に話したら、友達はきちんと相談に乗ってくれました。とてもうれしかったです。友達に相談してとても心強くなりました。

でも、見方になってくれる人がいるととても心強いです。私は、その相談に乗ってくれた友達の事を一番の友達だなあと思う。

俳句 (三年)

五月雨が降りしげいびに響く追分

大塚 洋明

ハンカチを染めてきれいな春の色

千葉 慎吾

硝子窓その向こうにはりんご花

藤山なお子

舟唄と青葉に染まるげいび溪

川島 弘至

山島の鳴き声聞いて起きる朝

深澤 宏太

緑葉と赤いレンガに涼し風

森山 裕香

五月雨が振って咲く花傘の花

鈴木 勇太

木々の葉のすきまにきらめく日の光

伊藤真莉絵

初夏の雨春のにおいを消していく

浅田 光博

新緑の葉がざわめくは清水川

中谷 宇一

げいび溪たわむる魚の水しぶき

菊池有紀子

夏の日に輝き増すは金色堂

池田 貞幸

中尊寺春を伝える木々たちよ

納口 雄吾

夏の風漂う境内中尊寺

瀬戸 真希

リンゴの木春のにおいに花咲かせ

佐々木秀人

春雨にゆるりと下るげいび溪

黒嶋 香織

中尊寺歴史を感じ今ここに

中尾明日香

じとじとと降る雨長し夏遠し

山本 俊幸

雄大な春の景色に言葉なし

芥藤 恭子

そよぐ風春のにおいと旅をする

東谷 祥行

桜散り歌声響くげいび溪

網森 智子

真つ白に染めにほほよせ眠る山

中川 真理

げいび溪流れる川に写る岩

阿部 聡

うみねこと共にゆらゆら遊覧船

信田 真希

うぐいすの歌声響く八幡平

樋本 彩佳

町並と笑う木々との語り合い

河元 亮太

龍泉洞目に焼きつくや青い水

古館 寛子

うみねこと一緒に浴びる水しぶき

本岡 奈美

春の海陸中に響く波しぶき

下川原雅斗

みちのくの旅路を歩く小さな旅

村川 理恵

陸中の夜空美し夏の海

川村 航平

かもめ飛ぶ波のささやき初夏の風

中山 大輔

龍泉洞流れる滝に魅せられて

輪島 朋香

狛鼻溪うたれてくだる五月雨に

黒田 慎也

春一番芽吹くたんぼは現れし

藤島 奈々

修学旅行の思い出を詠んだ句です。

短歌 (二年)

今年こそ読もうと思ひ買った本手あかつかずに黄ばみ始める

佐藤 伸彦

今年こそ今年こそはと言ひながら毎年同じ「今年の抱負」

井口 綾乃

三年前すべてをうばつた震災の心の傷はなかなか消えぬ

佐藤 宏美

見あげると冬の夜空にオリオンが誰にも負けず輝いている

高橋 侑子

冬の空見つめながらいつの日か春が来ること待ちつつづけてる

松村 結衣

バスの中お年寄りに席ゆずり乗客たちの心がなごむ

宮川 絵里奈

流れ星必死に思う願ひ事自分でがんばる心も大事

山田 貴恵

震災の仮設住まいも早三年政治の甘さをうらむばかりか

志村 博紀

冬休みうれしいけれど途中から早く見たいなみんなの笑顔

新 雄斗

除夜の鐘カウントダウン年末のかかせぬテレビウキウキするよ

山田 千恵

冬の街明るい朝の日をあびて一面光る銀色世界

越山 元貴

雪が舞う星空みあげ思うときでてくるものは白いためいき

新谷 美華

冬の松頭にかぶる雪ぼうしきらきら躍る朝の光に

一戸 恵

鐘をききまだかまだかと宮の前寒さこらえて初詣待つ

小野 愛美

初詣夢を沢山集めては幾つ叶うか届かぬ夢は

坪川 沙織

冬休み終わりが近くなっている自分の気持ちまだお正月

三浦 沙文

来年の表紙のままのカレンダー除夜の鐘聞ききまえよく切る

水上香緒里

長年の歴史感じる中村家古きおもかげ心に残る

佐藤 大介

雪深し山は孤独にたたずんで何もいわずにただ見つめてる

樋口 裕一

しんしんと降りつもる街空からの贈り物かな雪の結晶

山内 一弘

苦勞して進んでるのにまだまだと私の歩みはばむ積雪

阿部 智花

初日の出かがやき映す冬の海波のしぶきに今年の誓ひ

泉 加奈子

見あげれば白いわたぐも浮かんでる春を沢山運んできそう

伊藤香菜絵

吹奏楽みんなの心を一つにしきらり奏でる魅了のメロディ

杉村 絢子

川柳 (一年)

汗かいて何を食べても味がする

冬休み塾と部活で大変だ

初日の早起きの遅く見れぬまま

冬休み学校なくても塾二倍

はりきっておみくじ引いた凶だった

初夢の続き見るため再度寝る

初日の出見ても何の得もなし

お正月いつまで寝てるのおかあさん

今年こそ目標決めて三日坊主

冬休みねぼうの朝は夜近い

年賀状書いた方がいいが出し忘れ

おい、サンタえんとつのでいて落ちるなよ!!

通信表私びつくり母びつくり

お年玉袋はあるが中味なし

悲しいなシンナー吸って人殺し

冬景色バーゲン走る僕の母

冬休み終われば早しテストかな

気持ちよくテレビ見てたらあと三日

年始の親は子供に金ねだり

今日もまた頭なやます川柳に

お正月初夢見れずにむなしいな

冬休み宿題の山あつてもまだ遊ぶ

お正月子供はみんなお金持ち

登校日だけと心は冬休み

冬休み部活宿題ヒマはなし

野坂 光沙

近藤 裕紀

須佐 哲也

田中 敬人

佐藤 尚崇

原 裕

横田 雅己

八木橋 涉

川瀬 綾香

斉藤めぐみ

鍋島 タ子

古村 真衣

工藤菜緒美

冬休みはりきりすぎておおけがだ

宿題を三分やったらすぐあきる

大地震三年たつても傷いえぬ

冬休み気づいた時には過ぎていた

書き初めをやろうとしたらすみがない

お正月どこへ行っても混んでいる

初もうて百円入れて千願う

菊の花みなの心に花びらを

影二つ自分と知らず大あわて

お年玉もらう時だけお手伝い

宿題はやるだけやったさ始業式

お年玉もらったはずがもうないよ

お年玉いっぱいいたためにお買い物

坂本 啓介

及川 雅敏

小沢 勇樹

風間 良弘

木村 優

高畠 康輔

田原 卓

福田 有一

新渡 まり

酒井 智里

太田 裕子

姓名 智美

濱本 浪

養護

森 豊子

名古屋 貞俊

吉田 孜

辰巳 美恵子

笹谷 巖

伊勢 健

大宅 剛

越田 忠

阪井 恒雄

鮫川 静穂

小林 武征

札内 征男

校長
教頭
教諭



日直

給食

用務

事務

時講

教諭

堀 俊邦

熊谷 トシ

工藤 康博

坪田 正明

竹内 さとみ

三上 のり子

高島 貞

戸田 修

浦野 志織

山口 哲也

佐藤 雅博

信田 博之

田中 篤子

桑野 健一

萩野 雅彦

大村 俊幸

後藤 賢一

辻 吉隆

編集後記

皆さん、今年度の生徒会誌「五稜」はいかがだったでしょうか。この一年間、数々の行事がありました。そんな楽しい思い出がこの「五稜」にはたくさんつまっています。

十二月頃から作業を始め、長い期間をかけて製作をしてきましたが、今こうして立派な「五稜」を完成することができ、皆さんのご協力に本当に感謝しています。ありがとうございました。そして先生方も、お忙しい中ご苦勞様でした。

さて皆さんは、これから学年が上がり、新たな生活をおくっていくわけですが、皆さんの困難な壁にぶちあたるかもしれません。とくに卒業生の皆さんは社会への第一歩を踏み出していくわけで、途中で挫折しそうなこともあるかもしれません。私はそんなときこそこの「五稜」を開いて、楽しかった思い出やかけがえのない仲間たちのことを思い出ししてもらいたいです。そして、それらバネにいつも前向きに生きていってほしいです。どうかこの「五稜」が、いつまでも皆さんの心の中で輝き続けますように……

(編集委員委員長 江口 敬子)



編集委員

〔三年〕

江口 敬子
長谷 拓
佐藤 勇太
本間 奈美
木村 冬悟
小橋 沙織
中山 大輔
綱森 智子

〔二年〕

辻 雅彦
西口 三津夫

(顧問)
佐藤 雅博 先生
萩野 雅彦 先生

〔二年〕

新 雄斗
上戸 理克
吉田 玲菜
山崎 雄大
高橋 尚子
越山 元貴
小上 杏子
高橋 侑子
有樺 あき子

平成九年度生徒会会誌

「五 稜」 第37号

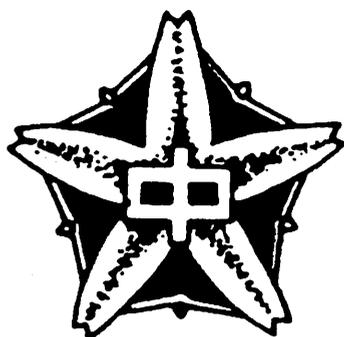
発行日 平成十年三月十三日

発行 函館市立五稜中学校生徒会

印刷 有限会社 久保内印刷所

函館市豊川町七番二六号

電話(015) 221-2678



函館市立五稜中学校生徒会